

# 令和5年度 JST情報サービス利用者の満足度調査 (J-STAGE 利用機関)



©2024 国立研究開発法人科学技術振興機構 この文書はクリエイティブ・コモンズ [表示 4.0 国際] ライセンスの下に提供されています。

<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.ja>



国立研究開発法人  
**科学技術振興機構**  
Japan Science and Technology Agency

# ■ 目次

■ 目次	1
■ 調査概要	2
【調査結果 詳細】	
■ J-STAGE 情報発信に役立っているか	4
■ J-STAGE 情報発信に役立っている理由	5
■ J-STAGE 情報発信に役立っている機能	6
■ J-STAGE 情報発信に役立っていない理由	7
■ J-STAGE 外部サービスの中で、インデックスされることで発信力の強化につながるもの	8
■ J-STAGE 全文XML登載状況	9
■ J-STAGE 全文XML登載によって得られた、あるいは期待できる効果	10
■ J-STAGE 全文XML登載で感じているデメリット、全文XML登載を利用していない理由	11
■ J-STAGEが提供する全文XML作成ツール利用状況	12
■ J-STAGEが提供する全文XML作成ツールを利用していない理由	13
■ J-STAGEが提供する全文XML作成ツールにどのような改善がされれば使いたいと思うか	14
■ J-STAGE 論文に関連する研究データの公開についての考え	15
■ J-STAGE 論文に付随する研究データの保存・公開等について投稿規程等で定めているか	16
■ J-STAGE Dataの利用状況	17
■ 直近1年間にアップデートを行ったJ-STAGEの機能や公開画面の表示のうち、役に立ったもの	18
■ J-STAGE APC（論文掲載料）の設定状況	19
■ J-STAGE 著作権の規程	20
■ J-STAGE 査読方式	21
■ J-STAGE 年間投稿数の10%以上を占める海外からの投稿国	22
■ 役に立ちそうなJ-STAGEの新たなサービス	23
■ J-STAGE タouchボード機能の機能拡張について意見・希望	24
■ J-STAGEの運営する広報媒体・イベント等で取り上げてほしい内容	25
■ プレプリントサーバで公開された原稿について、その投稿を認めているか	26
■ Jxivが整備しているプレプリント許容リストへの誌名記載の意向	27
■ プレプリントサーバで公開された原稿の投稿を認めていない現在の状況	28
■ プレプリントの投稿を認めていない理由	29
■ プレプリントに関する方針の投稿規定への記載状況	30
■ 掲載する論文における、プレプリントの引用	31
■ JxivとJ-STAGEとの連動サービスを期待するか	32
■ Jxivにコメント機能を搭載することについての考え	33

# ■ 調査概要

## 調査目的

国立研究開発法人科学技術振興機構が提供する主要な情報サービスについて、各サービスの利用状況、認知度、利用シーンや類似サービスとの比較・選択状況を明らかにするための調査を実施し、結果を事業企画に活用する。

## 調査対象

J-STAGEで資料を公開している機関

## サンプル数

1,008件

## 調査手法

インターネット調査

## 調査期間

2023年11月22日（水）～2023年12月25日（月）



## 調査結果 詳細

---

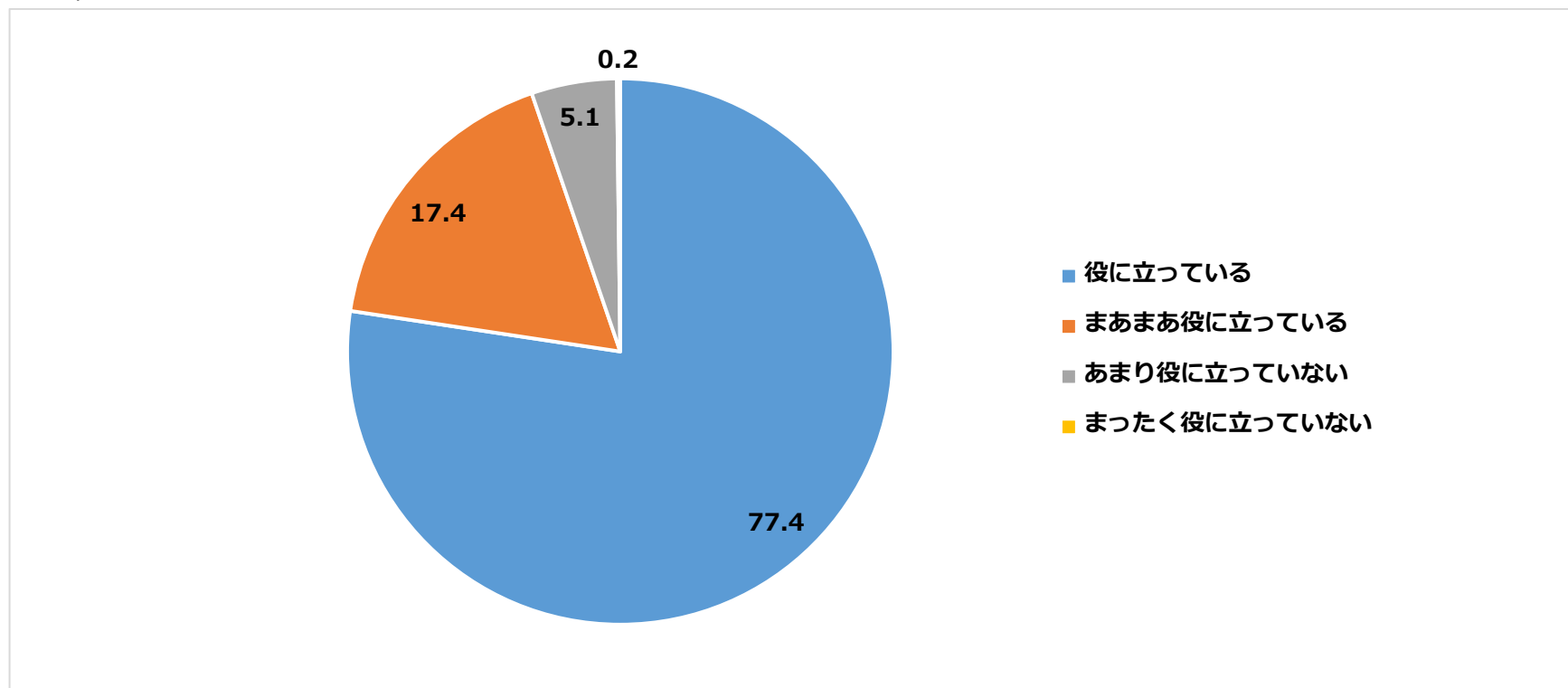
# ■ J-STAGE 情報発信に役立っているか

Q1 J-STAGEは貴誌の情報発信に役立っていますか。【1つ選択】

● J-STAGEが情報発信に役立っているかは、「役に立っている」が77.4%、「まあまあ役に立っている」が17.4%。ポジティブな回答が94.8%を占め、大多数が満足した様子が見える。

N=1,008

単位：%



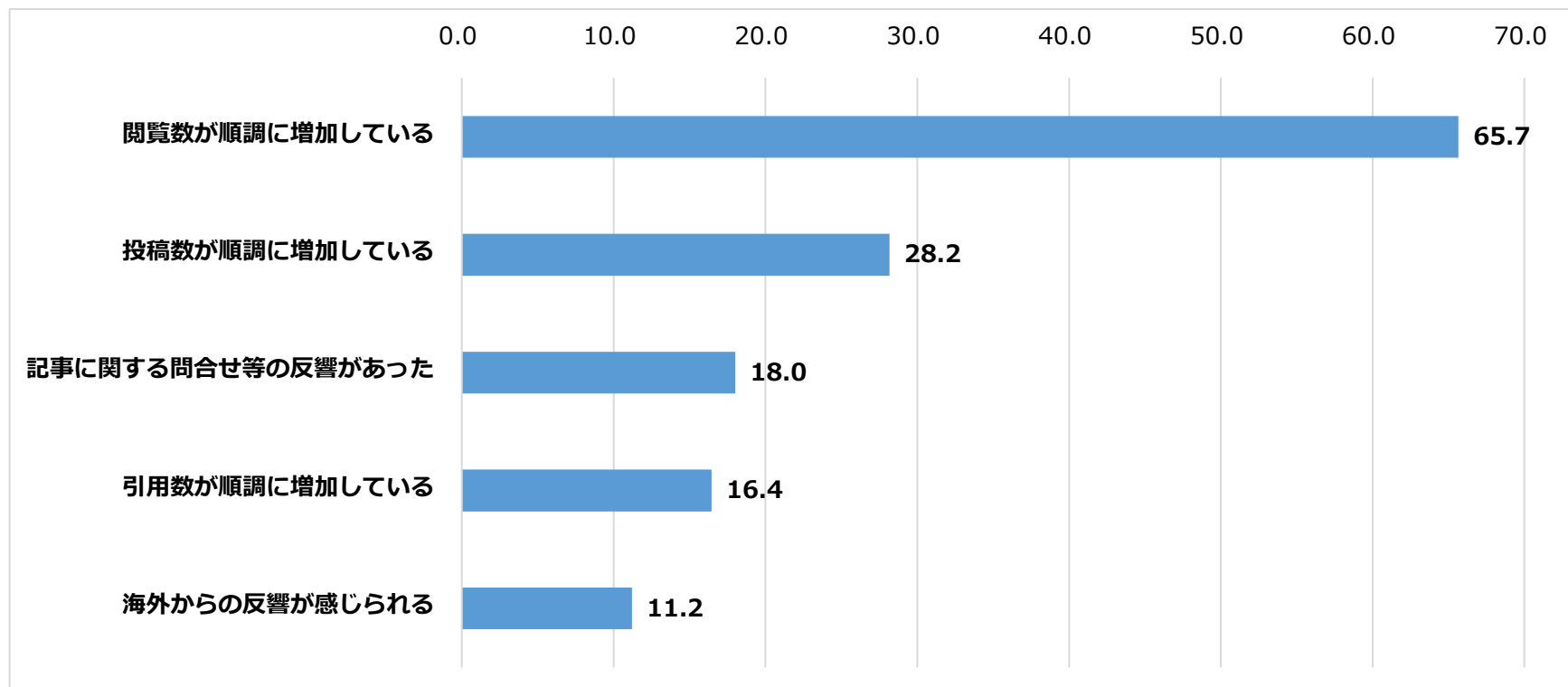
# ■ J-STAGE 情報発信に役立っている理由

Q1-1 J-STAGEが貴誌の情報発信に役立っている理由を選んでください。【複数選択可】

● J-STAGEが情報発信に役立っている理由は、「閲覧数が順調に増加している」が65.7%と最も高く、次いで「投稿数が順調に増加している」の28.2%、「記事に関する問合せ等の反響があった」の18.0%の順に続いている。

N=955

単位：%



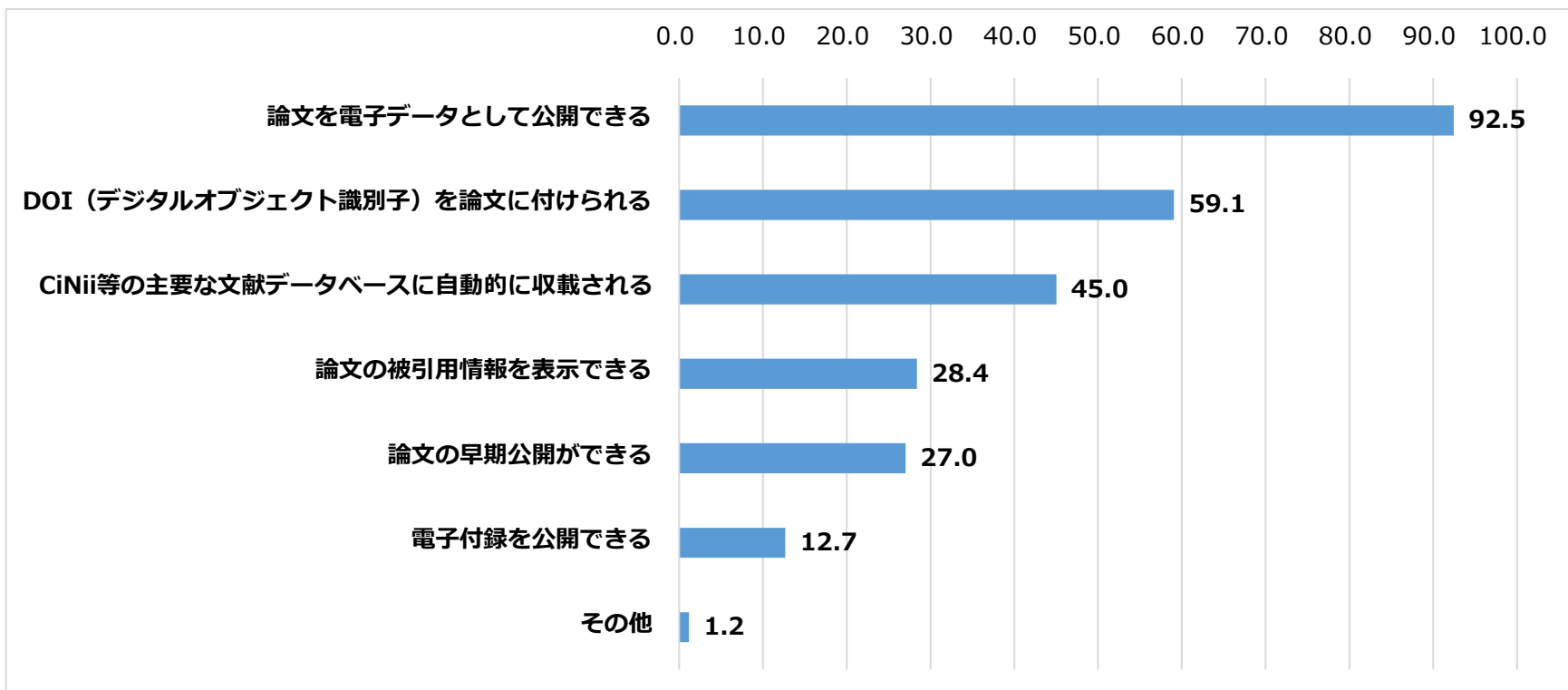
# ■ J-STAGE 情報発信に役立っている機能

Q1-1-1 J-STAGEが貴誌の情報発信に役立っていると思われる機能を選んでください。【複数選択可】

● J-STAGEが情報発信に役立っていると思われる機能は、「論文を電子データとして公開できる」が92.5%と最も高く、次いで「DOI（デジタルオブジェクト識別子）を論文に付けられる」の59.1%、「CiNii等の主要な文献データベースに自動的に収載される」の45.0%の順に続いている。

N=955

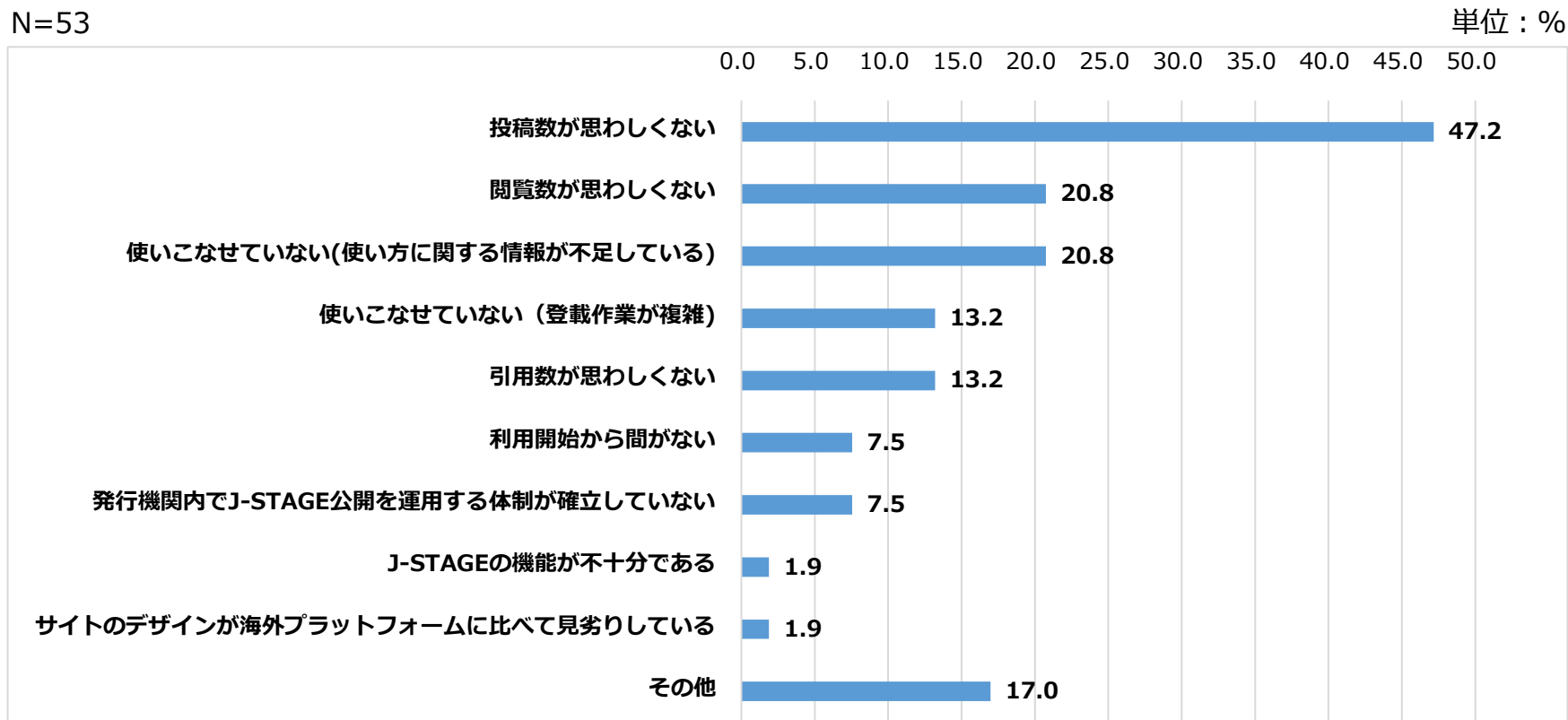
単位：%



# ■ J-STAGE 情報発信に役立っていない理由

Q1-2 J-STAGEが貴誌の情報発信に役立っていない理由を選んでください。【複数選択可】

● J-STAGEが情報発信に役立っていない理由は、「投稿数が思わしくない」が47.2%と最も高く、次いで「閲覧数が思わしくない」、「使いこなせていない(使い方に関する情報が不足している)」の20.8%の順に続いている。





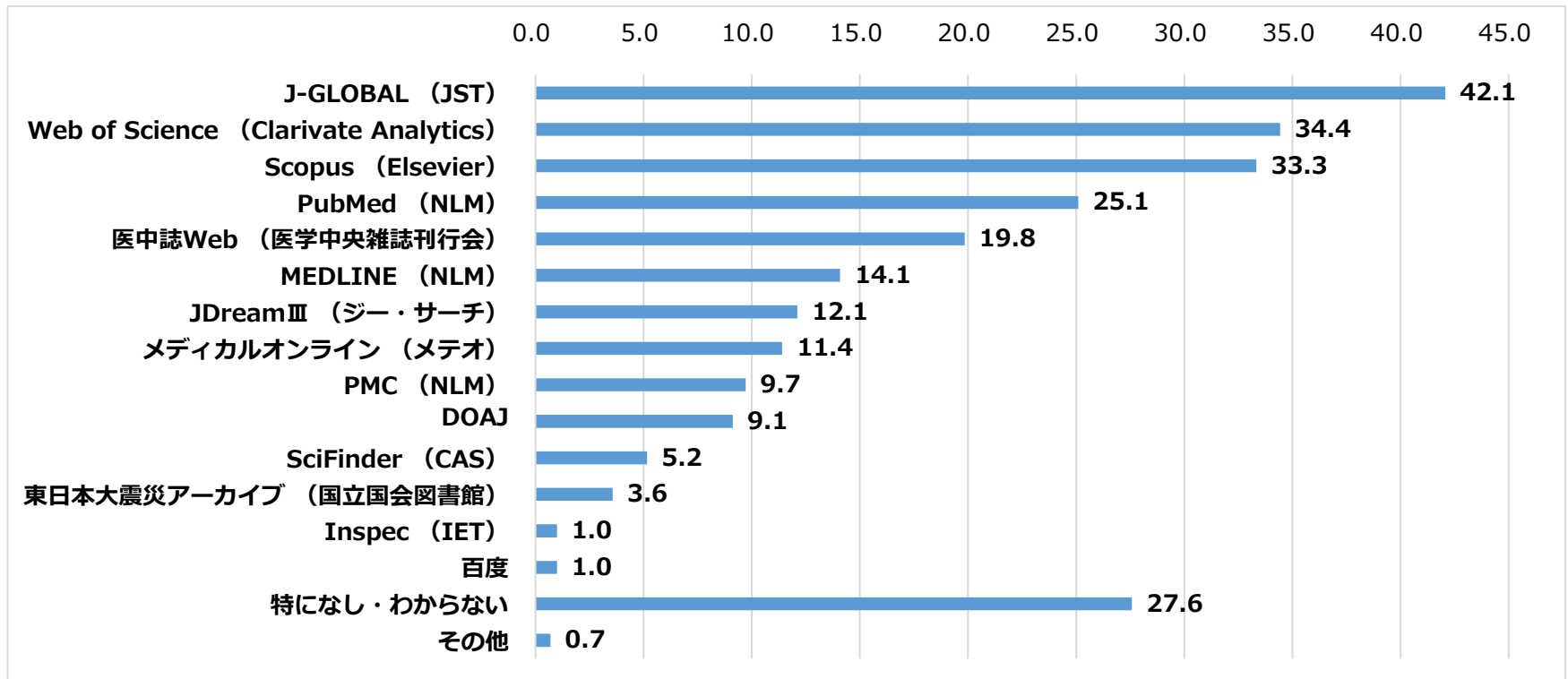
## ■J-STAGE 外部サービスの中で、インデックスされることで発信力の強化につながるもの

Q2 以下の外部サービスの中で、インデックスされること（データベースに収載され、検索が可能になること）で貴誌の発信力の強化につながるものを選んでください。【複数選択可】

●インデックスされることで発信力の強化につながる外部サービスは、「J-GLOBAL (JST) 」が42.1%と最も高く、次いで「Web of Science (Clarivate Analytics) 」の34.4%、「Scopus (Elsevier) 」の33.3%の順に続いている。

N=1,008

単位：%



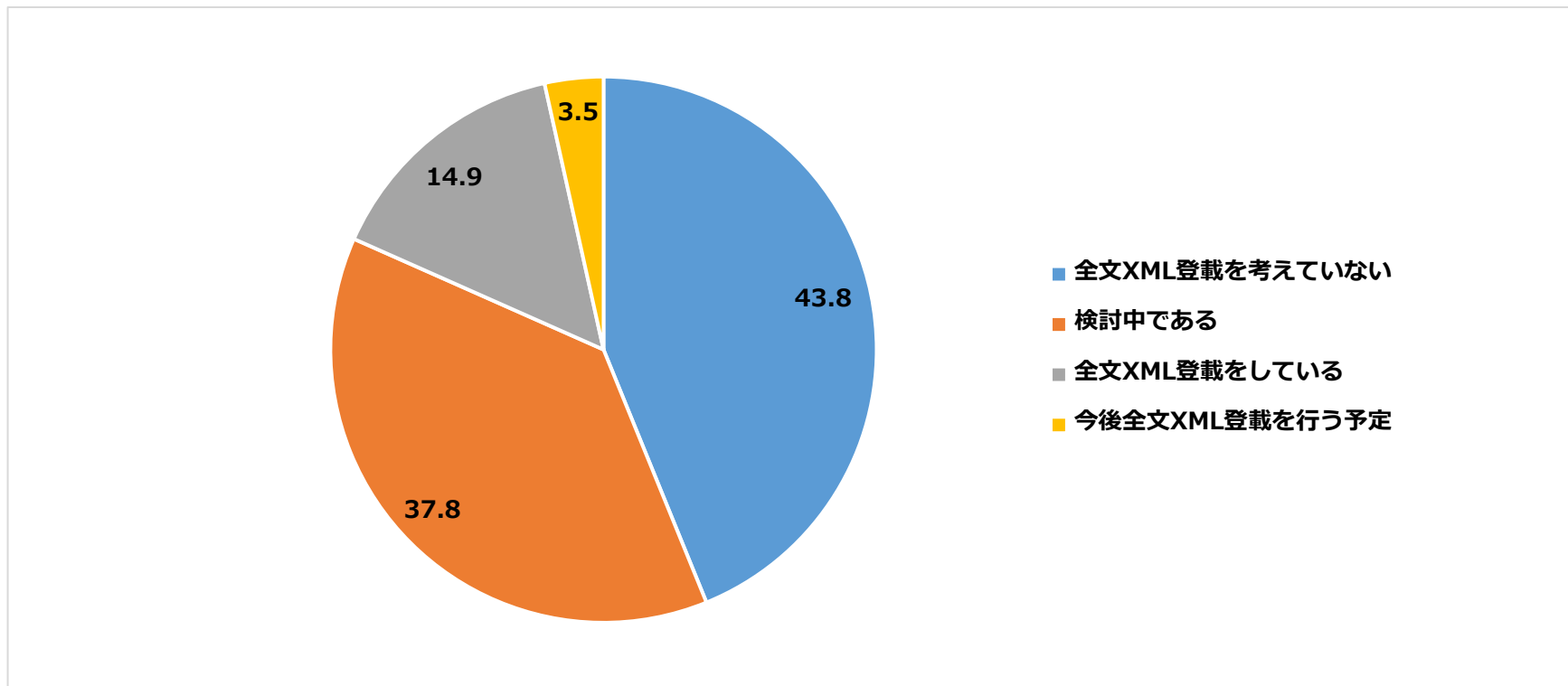
# ■ J-STAGE 全文XML登載状況

Q3 貴誌の全文XML登載状況について最もあてはまるものを選んでください【1つ選択】

● 全文XML登載状況については、「全文XML登載を考えていない」が43.8%と最も高く、次いで「検討中である」の37.8%、「全文XML登載をしている」の14.9%の順が続いている。

N=1,008

単位：%



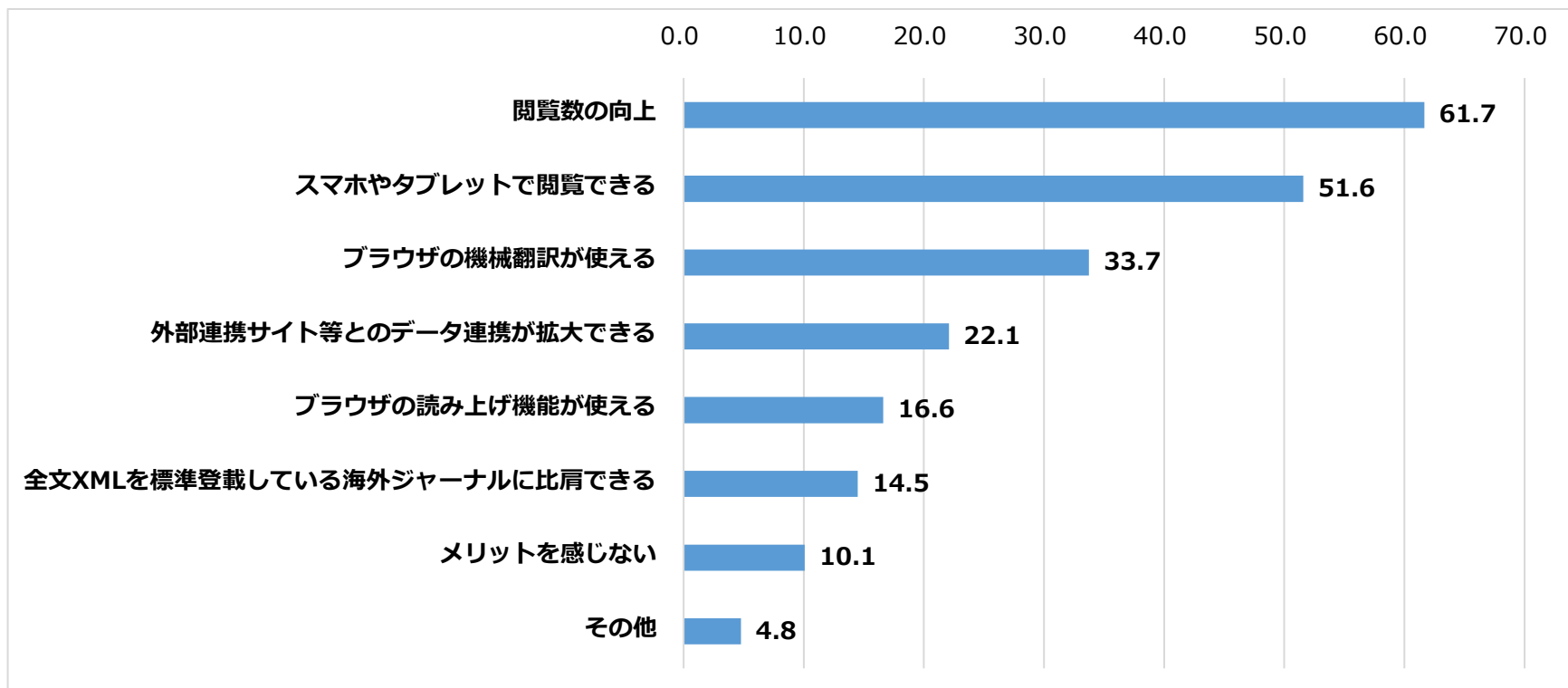
# ■ J-STAGE 全文XML登載によって得られた、あるいは期待できる効果

Q3-1 全文XML登載によって得られた、あるいは期待できる効果を選んでください。【複数選択可】

● 全文XML登載の効果は、「閲覧数の向上」が61.7%と最も高く、次いで「スマホやタブレットで閲覧できる」の51.6%、「ブラウザの機械翻訳が使える」の33.7%の順に続いている。

N=566

単位：%



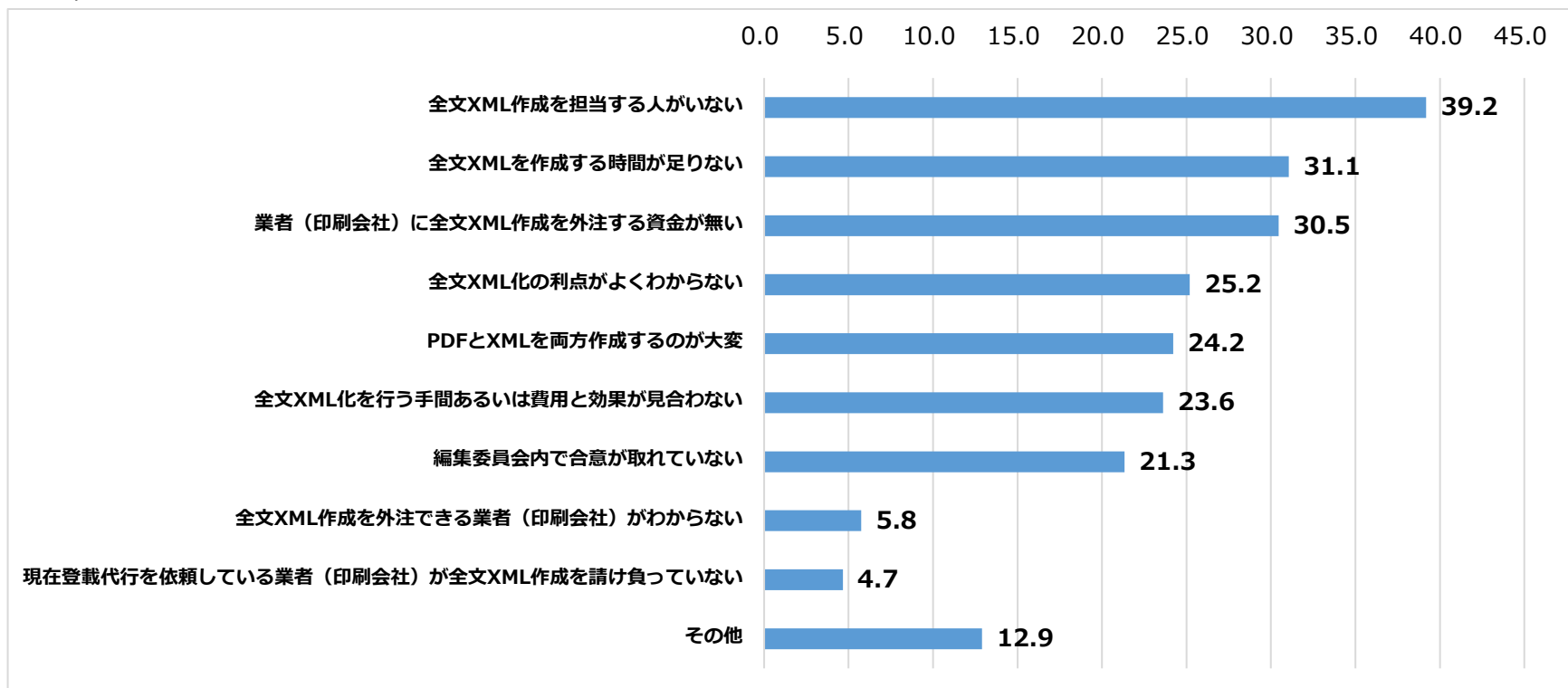
## ■ J-STAGE 全文XML登載で感じているデメリット、全文XML登載を利用していない理由

Q4 全文XML登載で感じているデメリット、全文XML登載を利用していない理由を選んでください。【複数選択可】

● 全文XML登載のデメリット、全文XML登載を利用していない理由は、「全文XML作成を担当する人がいない」が39.2%と最も高く、次いで「全文XMLを作成する時間が足りない」の31.1%、「業者（印刷会社）に全文XML作成を外注する資金が無い」の30.5%の順に続いている。

N=1,008

単位：%



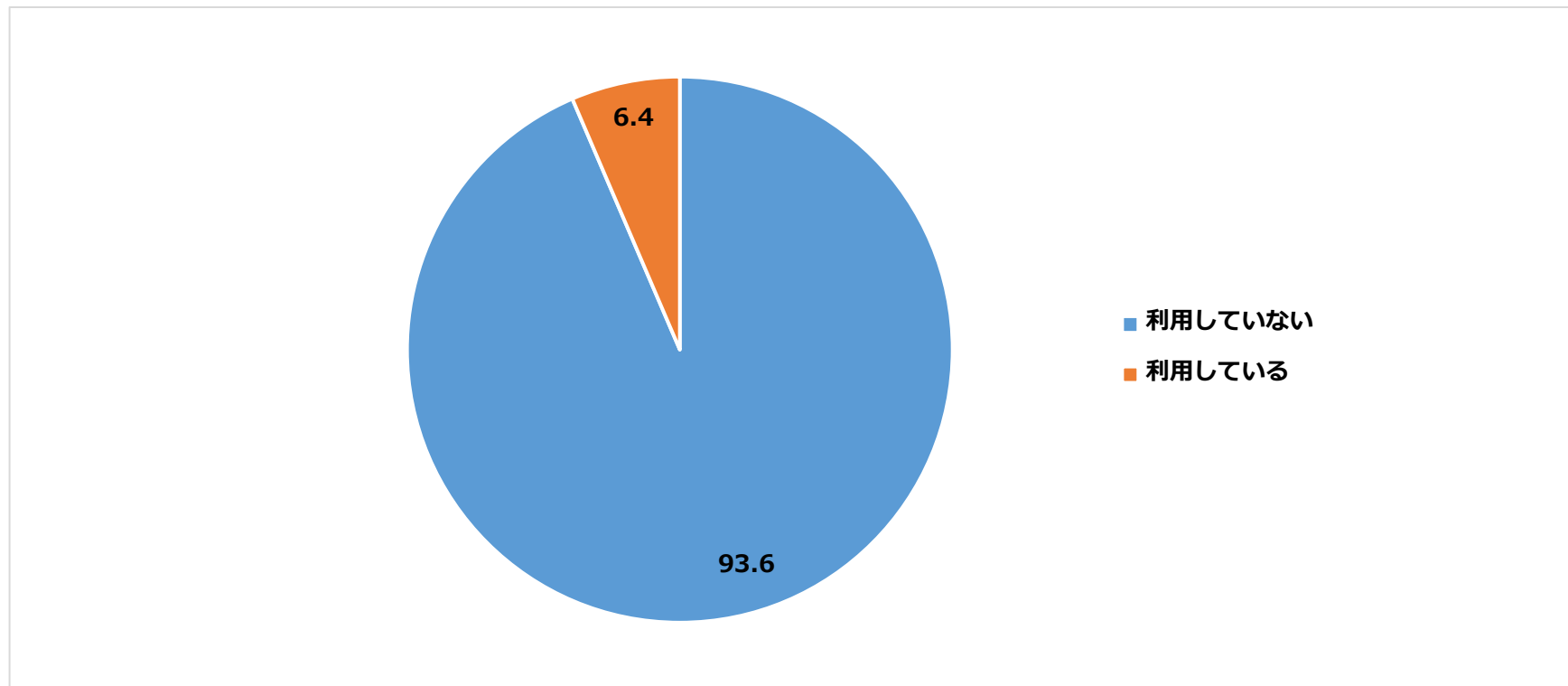
# ■ J-STAGEが提供する全文XML作成ツール利用状況

Q5 J-STAGEが提供している「全文XML作成ツール」を利用していますか。【1つ選択】

● J-STAGEの全文XML作成ツール利用状況は、「利用していない」が93.6%と大半を占めた。「利用している」は6.4%に留まった。

N=1,008

単位：%



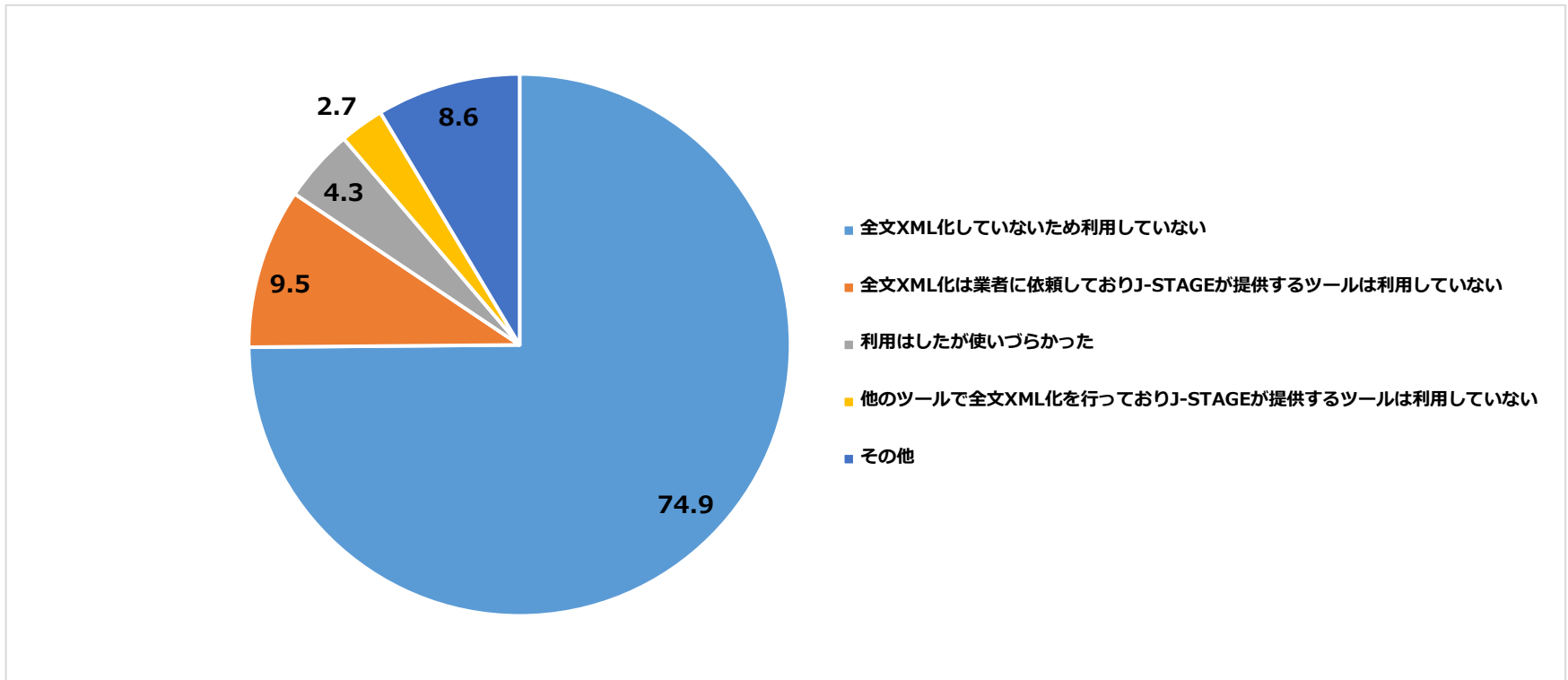
# ■ J-STAGEが提供する全文XML作成ツールを利用していない理由

Q5-1 J-STAGEが提供している「全文XML作成ツール」を利用していない理由を選んでください。【1つ選択】

● J-STAGEの全文XML作成ツールを利用していない理由は、「全文XML化していないため利用していない」が74.9%と最も高く、次いで「全文XML化は業者に依頼しておりJ-STAGEが提供するツールは利用していない」の9.5%、「利用はしたが使いづらかった」の4.3%の順に続いている。

N=943

単位：%



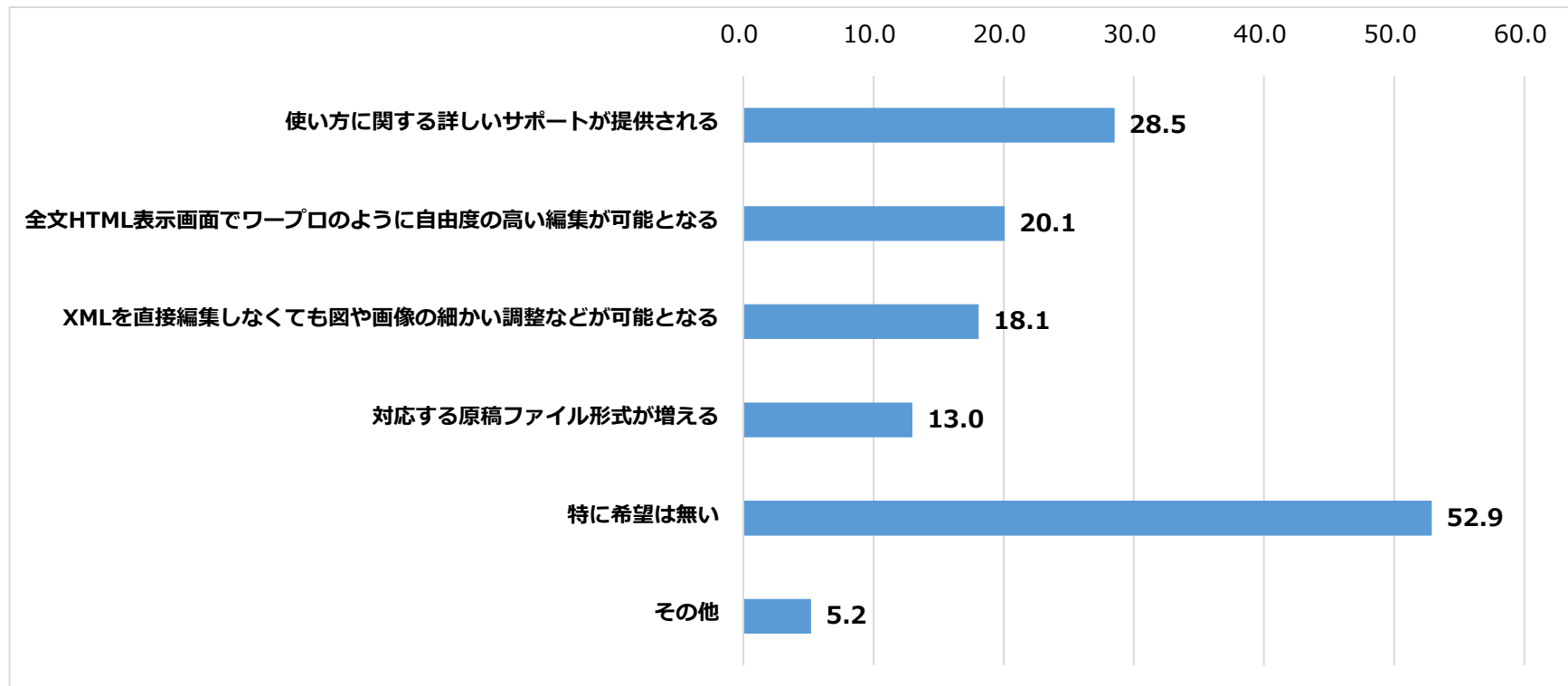
## ■ J-STAGEが提供する全文XML作成ツールにどのような改善がされれば使いたいと思うか

Q5-1-1 全文XMLツールにどのような改善がされれば使いたいと思いますか。登載作業者の意見を聞いてお答えください。【複数選択可】

● J-STAGEの全文XML作成ツールにどのような改善がされれば使いたいと思うかは、「使い方に関する詳しいサポートが提供される」が28.5%と最も高く、次いで「全文HTML表示画面でワープロのように自由度の高い編集が可能となる」の20.1%、「XMLを直接編集しなくても図や画像の細かい調整などが可能となる」の18.1%の順に続いている。「特に希望は無い」は52.9%であった。

N=747

単位：%



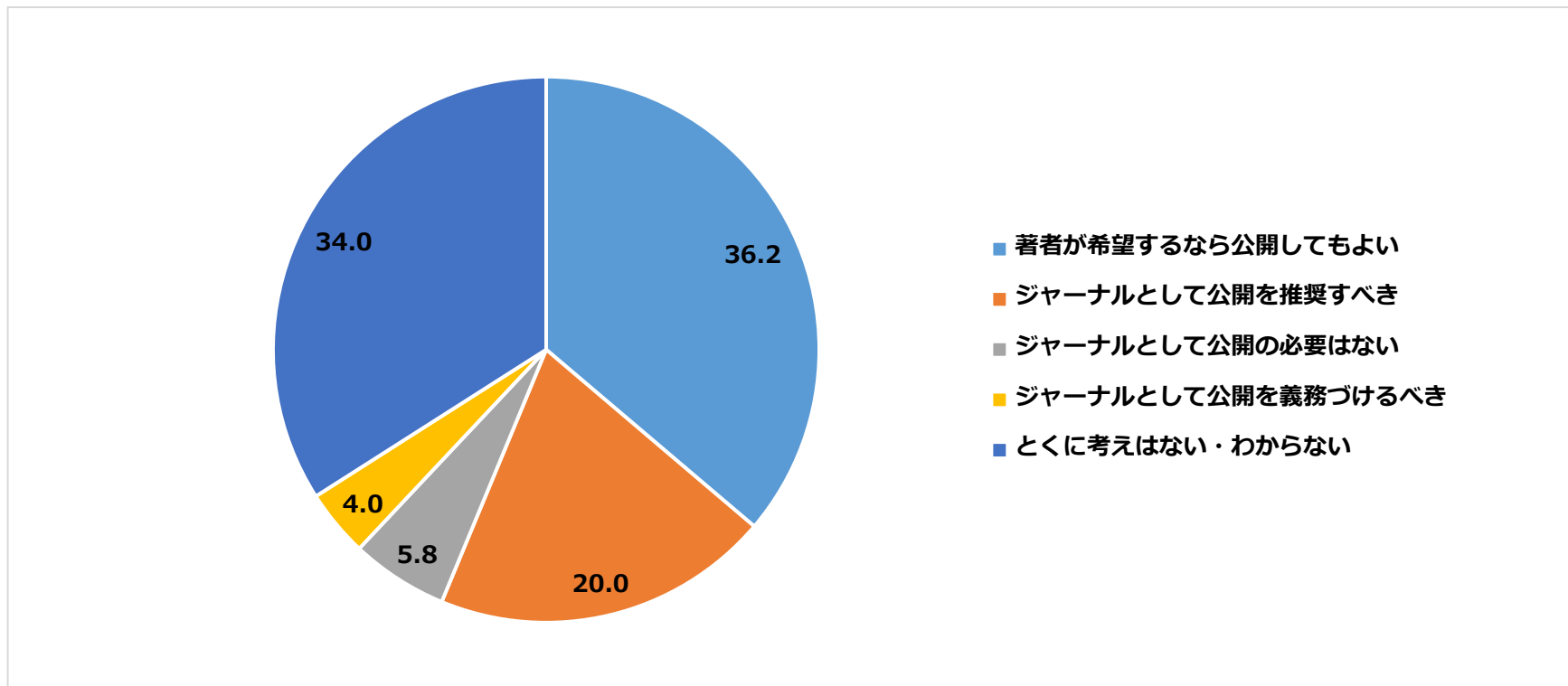
# ■ J-STAGE 論文に関連する研究データの公開についての考え

Q6 論文に関連する研究データの公開について、どのように考えていますか。【1つ選択】

● 論文に関連する研究データの公開についての考えは、「著者が希望するなら公開してもよい」が36.2%と最も高く、次いで「ジャーナルとして公開を推奨すべき」の20.0%、「ジャーナルとして公開の必要はない」の5.8%の順に続いている。

N=1,008

単位：%





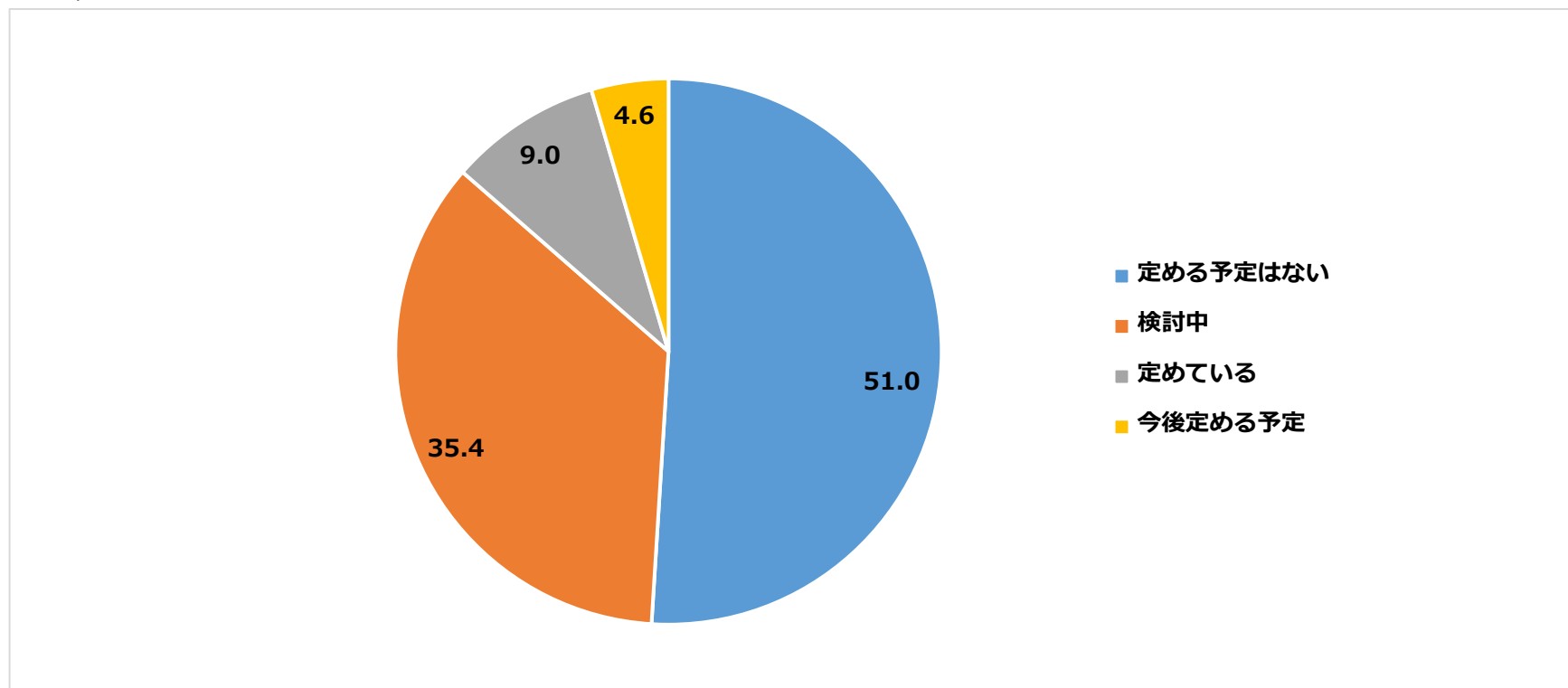
## ■ J-STAGE 論文に付随する研究データの保存・公開等について投稿規程等で定めているか

Q7 論文に付随する研究データの保存・公開等について投稿規程等で定めていますか。【1つ選択】

● 論文に付随する研究データの保存・公開等について投稿規程等で定めているかは、「定める予定はない」が51.0%と最も高く、次いで「検討中」の35.4%、「定めている」の9.0%の順が続いている。

N=1,008

単位：%



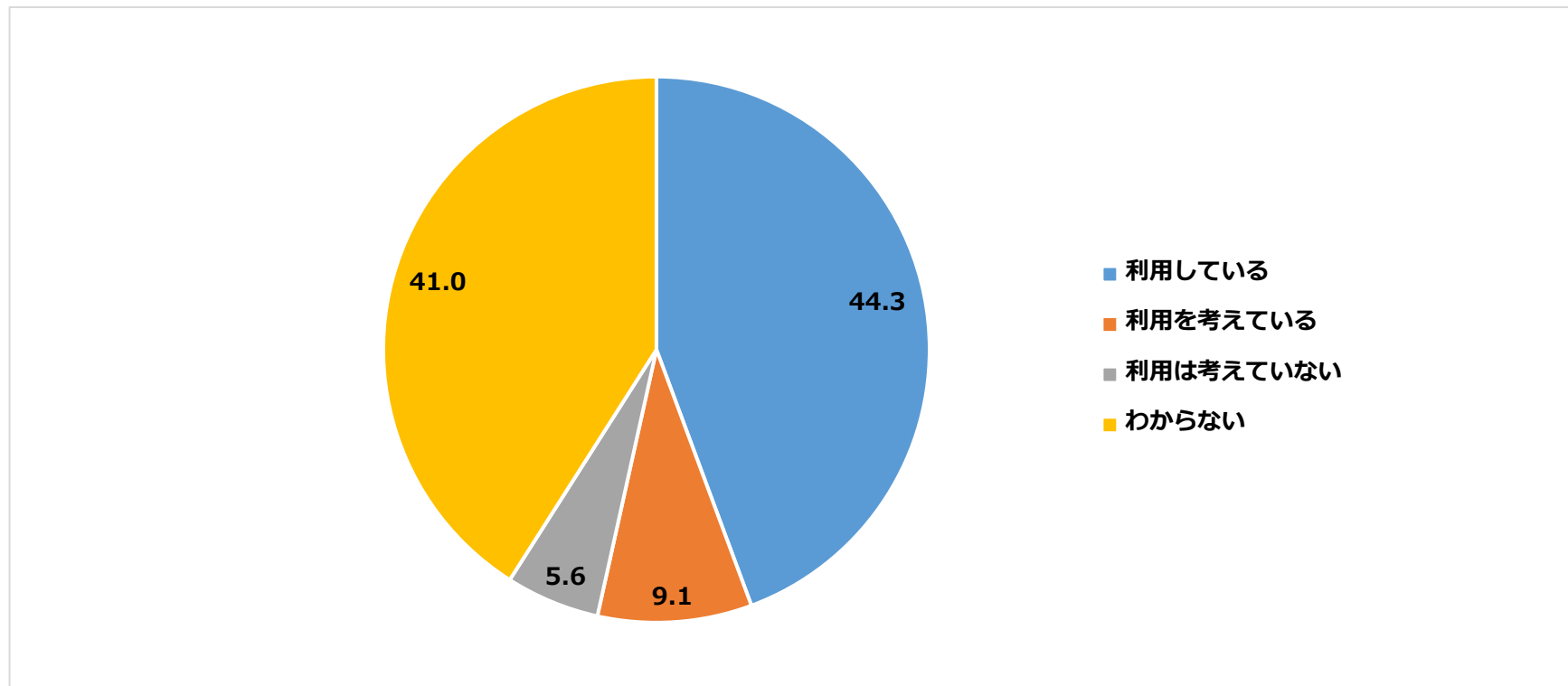
# ■ J-STAGE Dataの利用状況

Q8 [J-STAGE Data](#)を利用していますか。【1つ選択】

● J-STAGE Dataの利用状況は、「利用している」が44.3%と最も高く、次いで「利用を考えている」の9.1%、「利用は考えていない」の5.6%の順に続いている。

N=1,008

単位：%



- 利用している
- 利用を考えている
- 利用は考えていない
- わからない

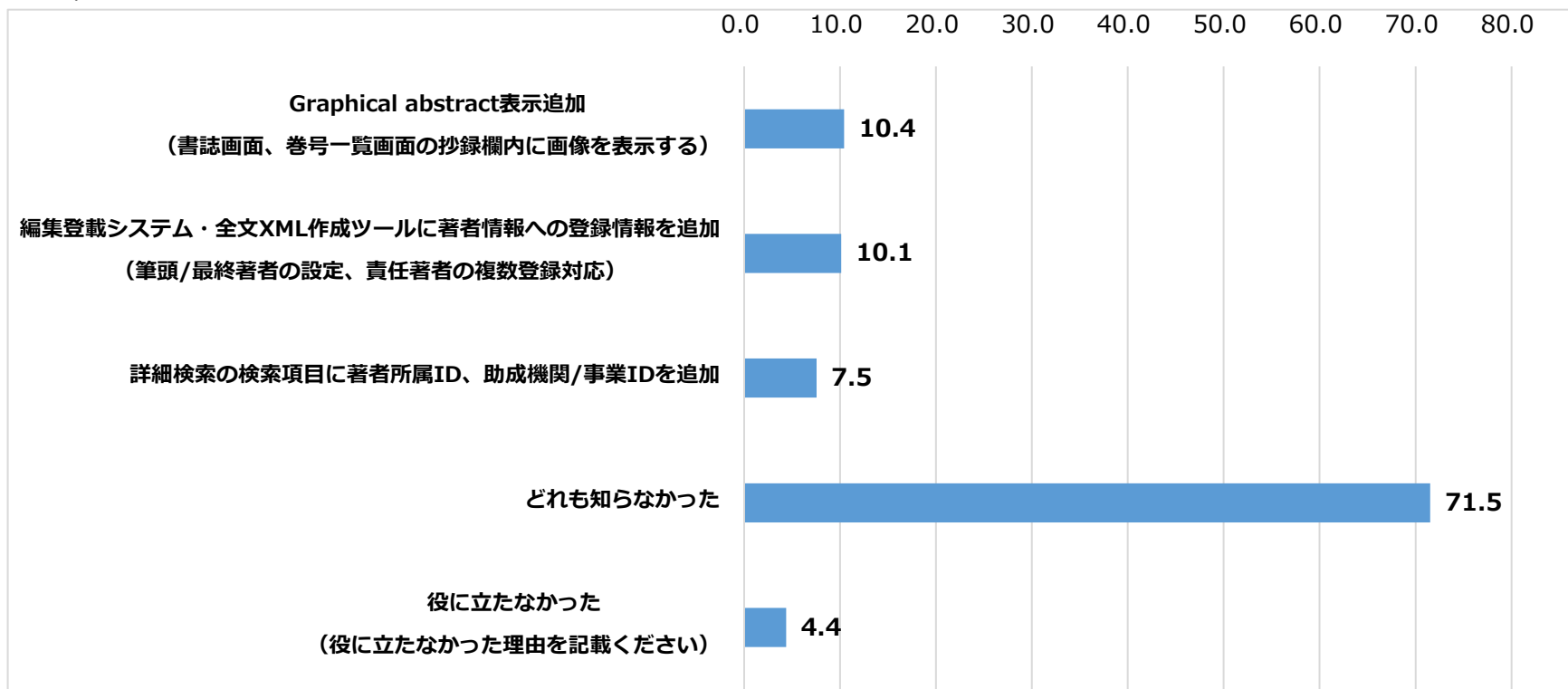
## ■ 直近1年間にアップデートを行ったJ-STAGEの機能や公開画面の表示のうち、役に立ったもの

Q9 直近1年間にアップデートを行ったJ-STAGEの機能や公開画面の表示のうち、役に立ったものを選んでください。【複数選択可】

● J-STAGEで直近1年間にアップデートを行った機能のうち、役に立ったものは、「Graphical abstract表示追加（書誌画面、巻号一覧画面の抄録欄内に画像を表示する）」が10.4%と最も高く、次いで「編集掲載システム・全文XML作成ツールに著者情報への登録情報を追加（筆頭/最終著者の設定、責任著者の複数登録対応）」の10.1%、「詳細検索の検索項目に著者所属ID、助成機関/事業IDを追加」の7.5%の順が続いている。  
「どれも知らなかった」は71.5%であった。

N=1,008

単位：%



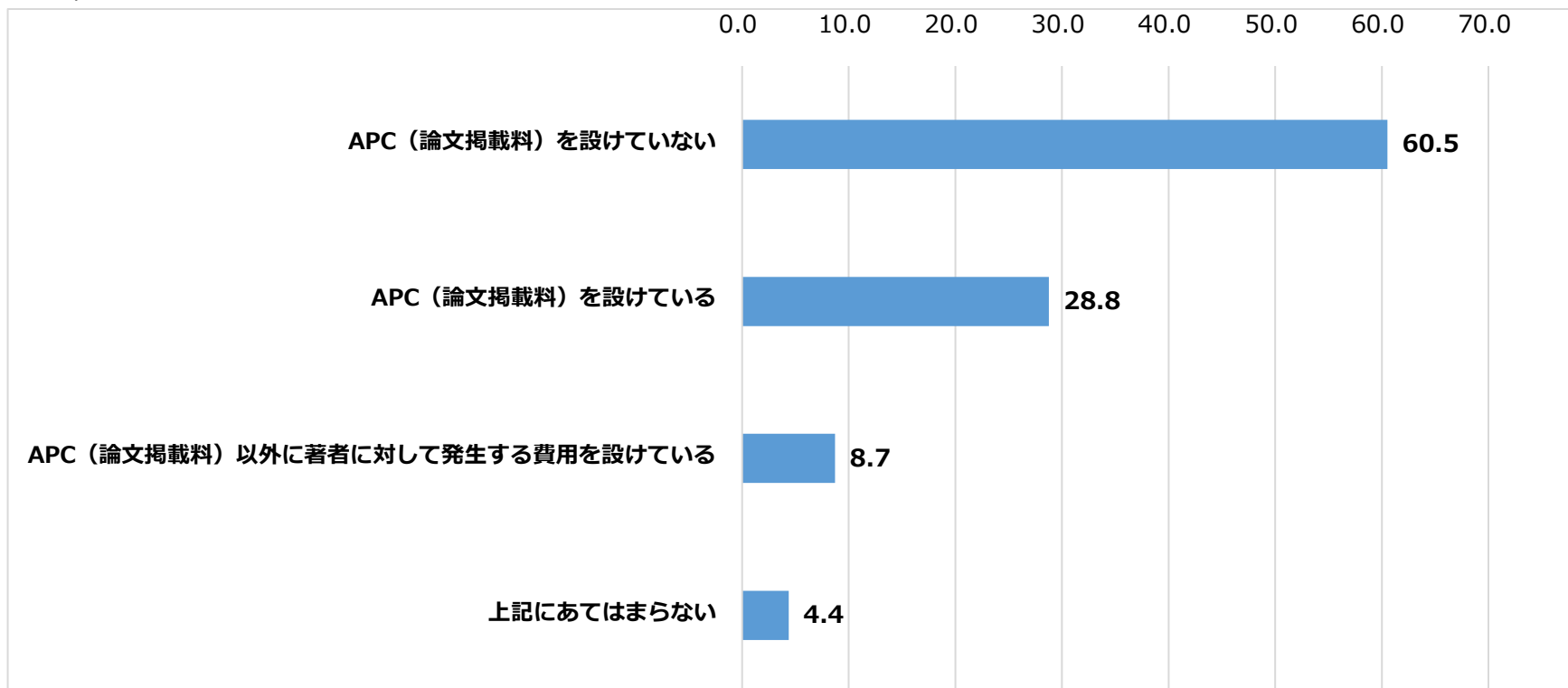
# ■ J-STAGE APC（論文掲載料）の設定状況

Q10 貴誌のAPC（論文掲載料）設定についてあてはまるものを選んでください。【複数選択可】

● APC（論文掲載料）の設定状況については、「APC（論文掲載料）を設けていない」が60.5%と最も高く、次いで「APC（論文掲載料）を設けている」の28.8%、「APC（論文掲載料）以外に著者に対して発生する費用を設けている」の8.7%の順に続いている。

N=1,008

単位：%



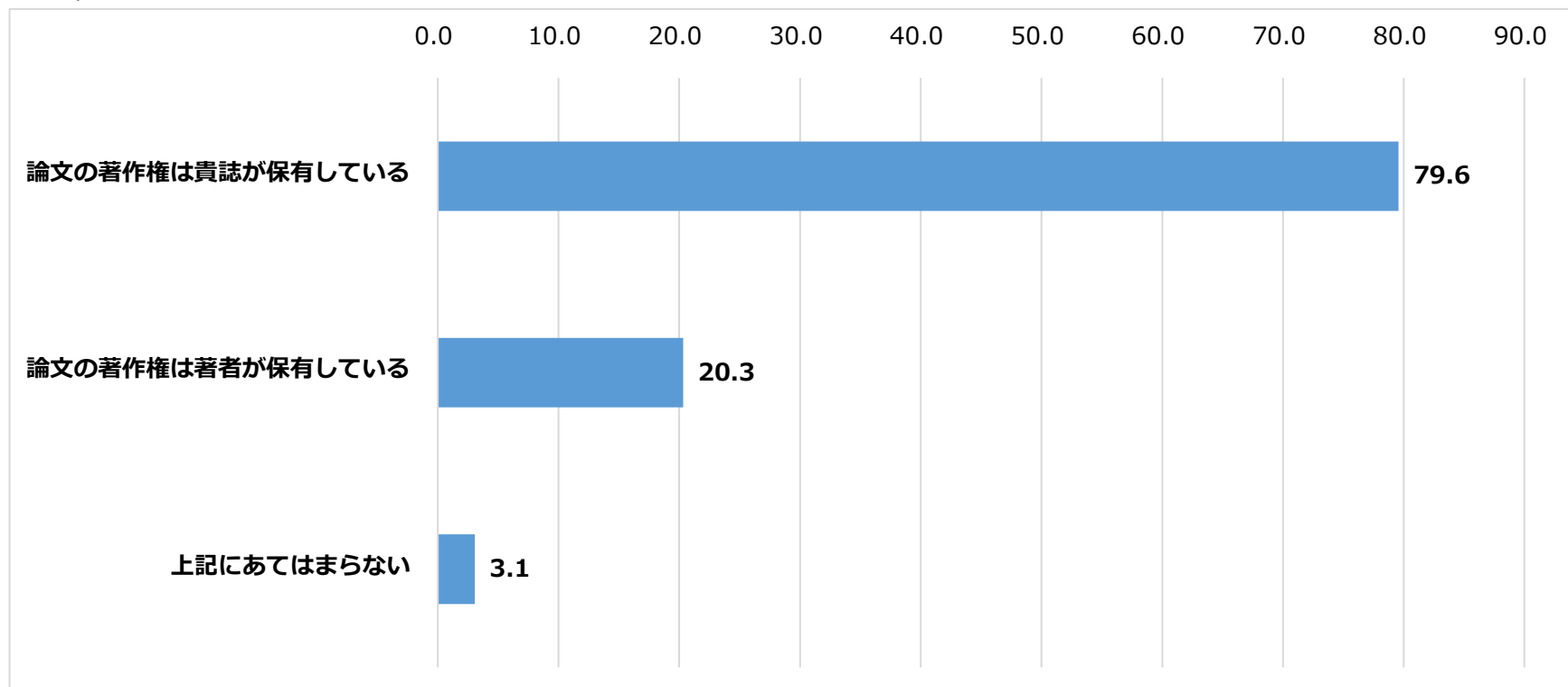
# ■ J-STAGE 著作権の規程

Q11 貴誌の著作権の規程についてあてはまるものを選んでください。【複数選択可】

● 著作権の規程については、「論文の著作権は貴誌が保有している」が79.6%と最も高く、次いで「論文の著作権は著者が保有している」の20.3%、「上記にあてはまらない」の3.1%の順に続いている。

N=1,008

単位：%



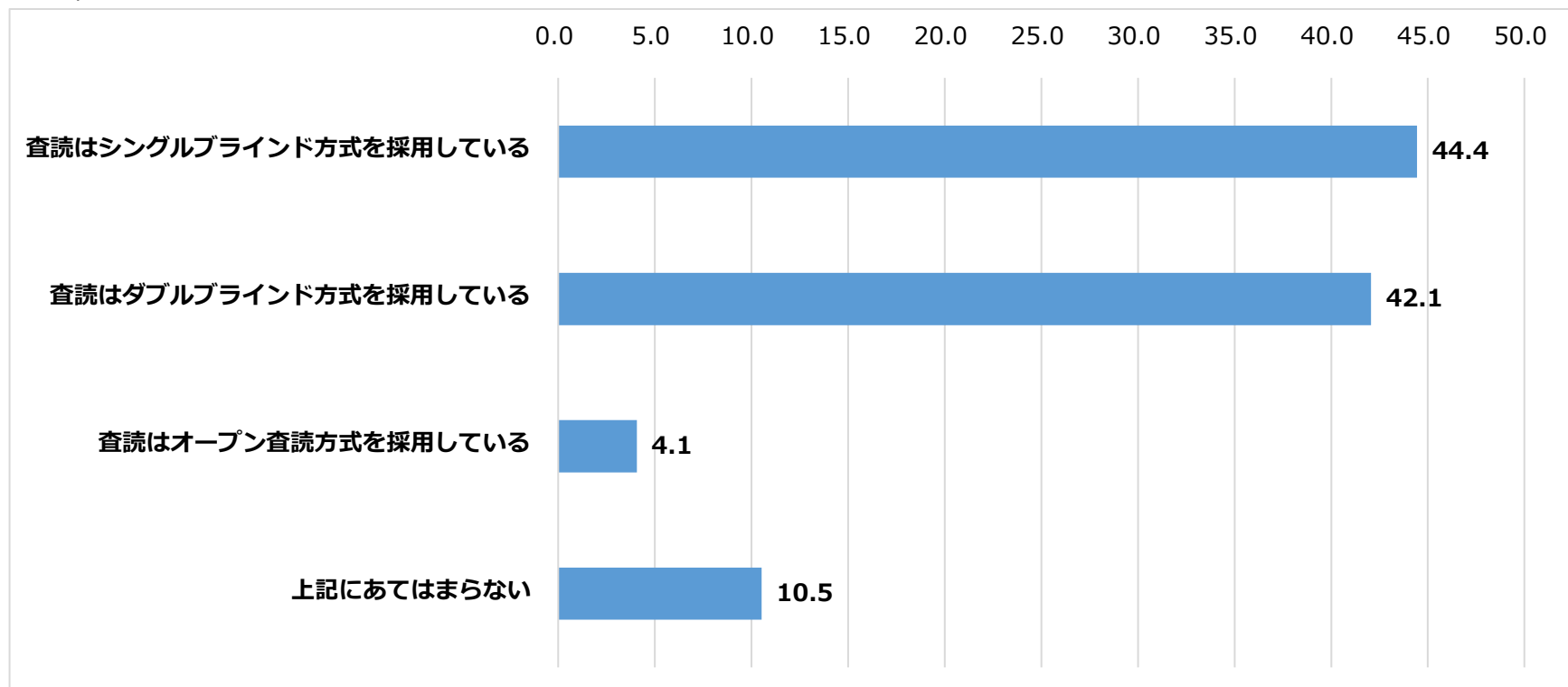
# ■ J-STAGE 査読方式

Q12 貴誌の査読方式についてあてはまるものを選んでください。【複数選択可】

● 査読方式については、「査読はシングルブラインド方式を採用している」が44.4%と最も高く、次いで「査読はダブルブラインド方式を採用している」の42.1%、「査読はオープン査読方式を採用している」の4.1%の順に続いている。

N=1,008

単位：%



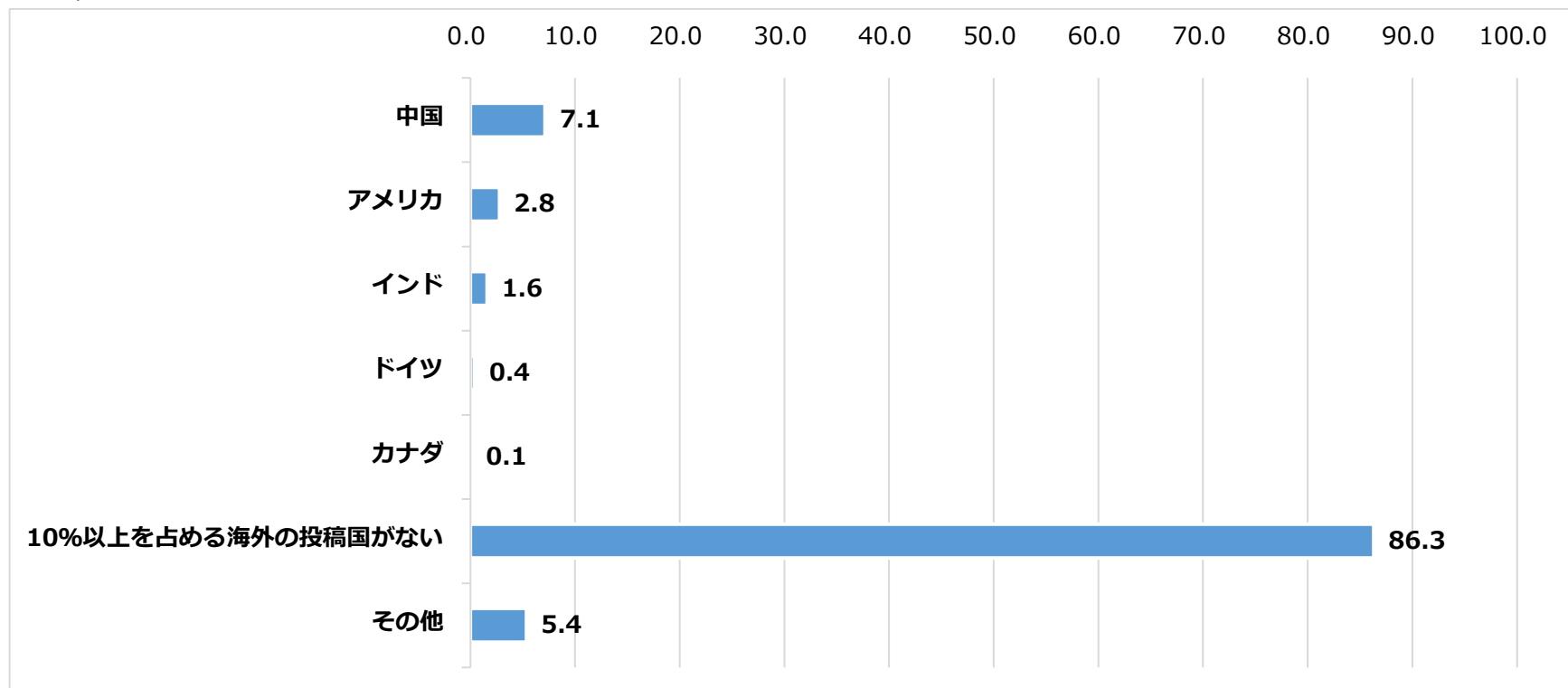
# ■ J-STAGE 年間投稿数の10%以上を占める海外からの投稿国

Q13 貴誌の年間投稿数の10%以上を占める海外からの投稿国を選んでください。【複数選択可】

● 年間投稿数の10%以上を占める海外からの投稿国は、「中国」が7.1%と最も高く、次いで「アメリカ」の2.8%、「インド」の1.6%の順が続いている。  
「10%以上を占める海外の投稿国がない」は86.3%であった。

N=1,008

単位：%



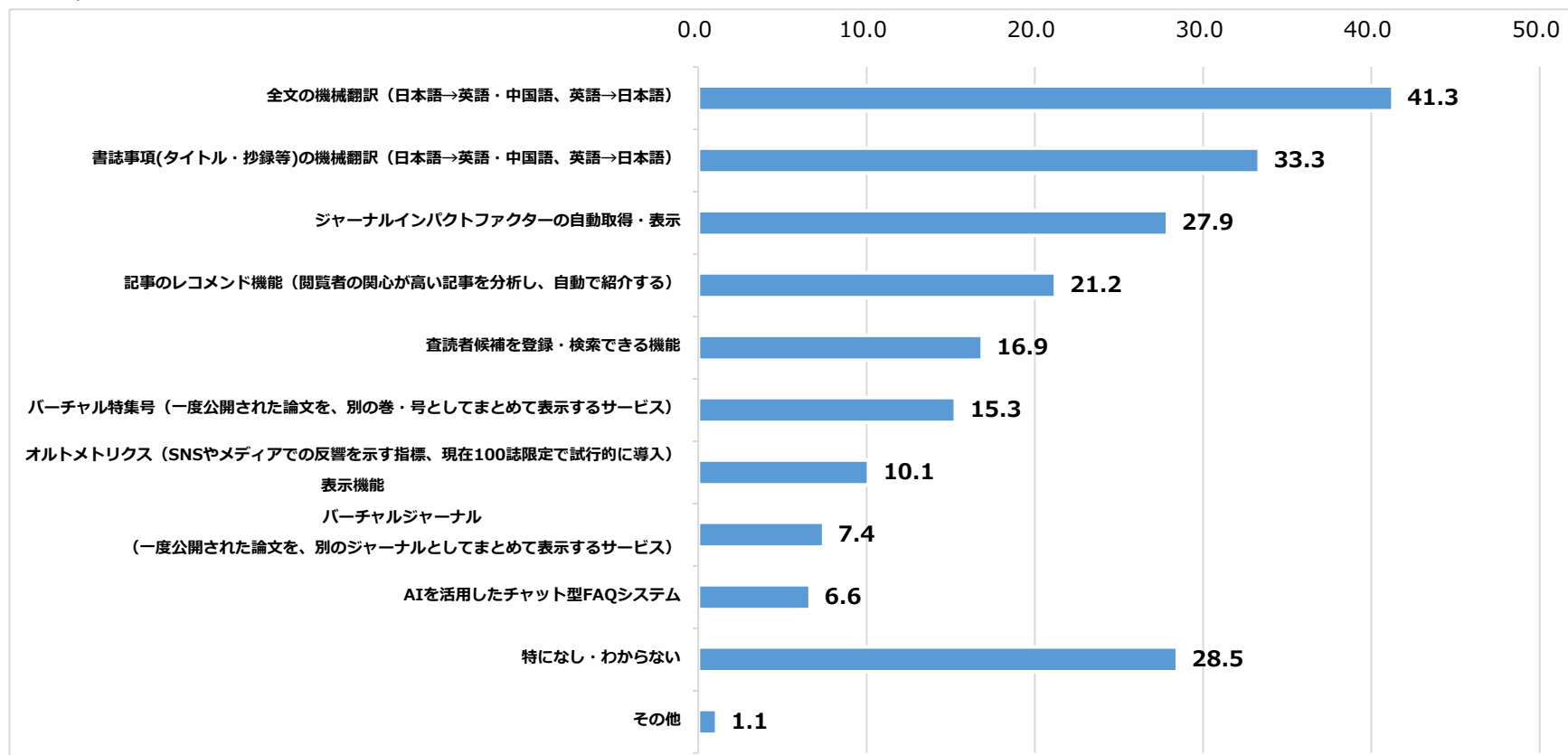
# ■役に立ちそうなJ-STAGEの新たなサービス

Q14 貴誌にとって役に立ちそうなJ-STAGEの新たなサービスを選んでください。【複数選択可】

●役に立ちそうなJ-STAGEの新たなサービスは、「全文の機械翻訳（日本語→英語・中国語、英語→日本語）」が41.3%と最も高く、次いで「書誌事項(タイトル・抄録等)の機械翻訳（日本語→英語・中国語、英語→日本語）」の33.3%、「ジャーナルインパクトファクターの自動取得・表示」の27.9%の順に続いている。

N=1,008

単位：%





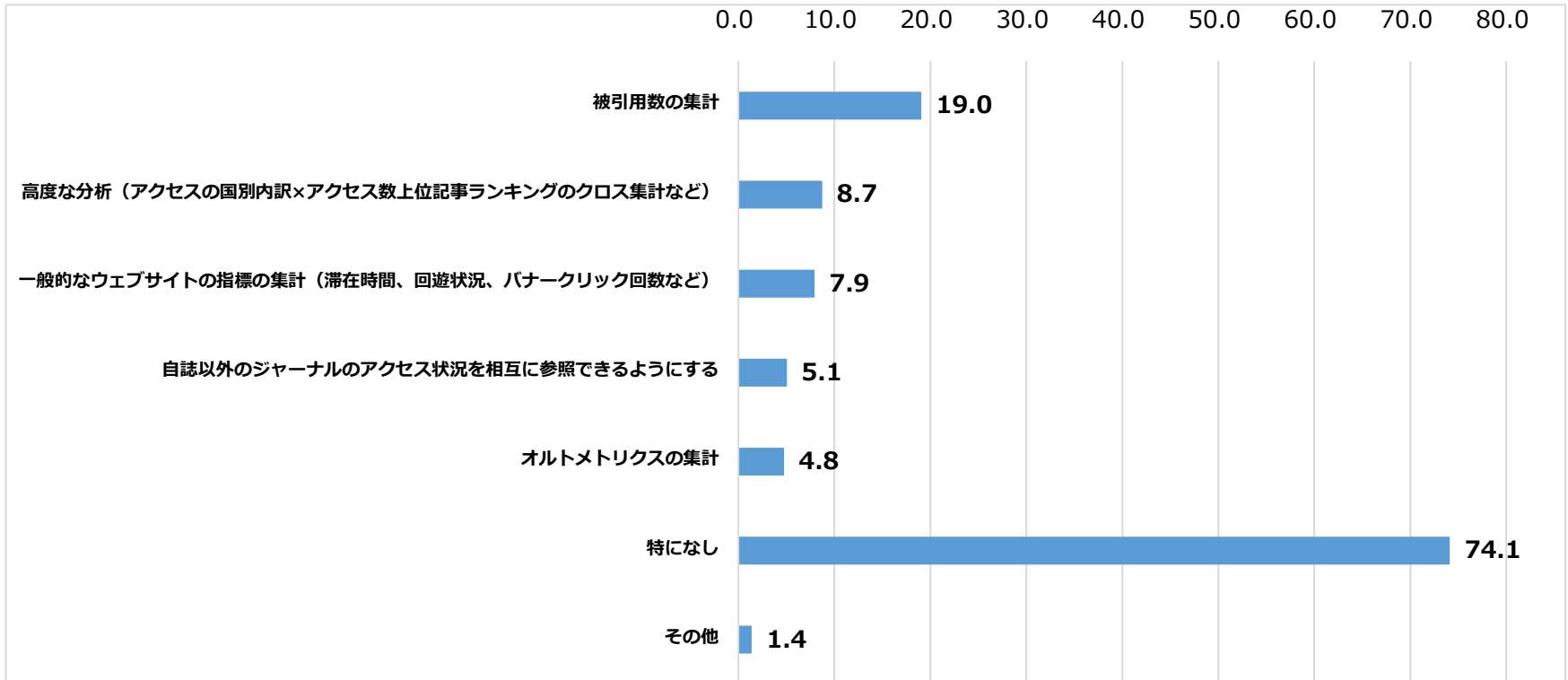
# ■ J-STAGE ダッシュボード機能の機能拡張について意見・希望

Q15 J-STAGEでは、登載誌発行機関向けに資料へのアクセス状況をグラフで可視化するダッシュボード機能を提供しています。【複数選択可】

● J-STAGEのダッシュボード機能拡張についての意見・希望は、「被引用数の集計」が19.0%と最も高く、次いで「高度な分析（アクセスの国別内訳×アクセス数上位記事ランキングのクロス集計など）」の8.7%、「一般的なウェブサイトの指標の集計（滞在時間、回遊状況、バナークリック回数など）」の7.9%の順に続いている。「特になし」は74.1%であった。

N=1,008

単位：%



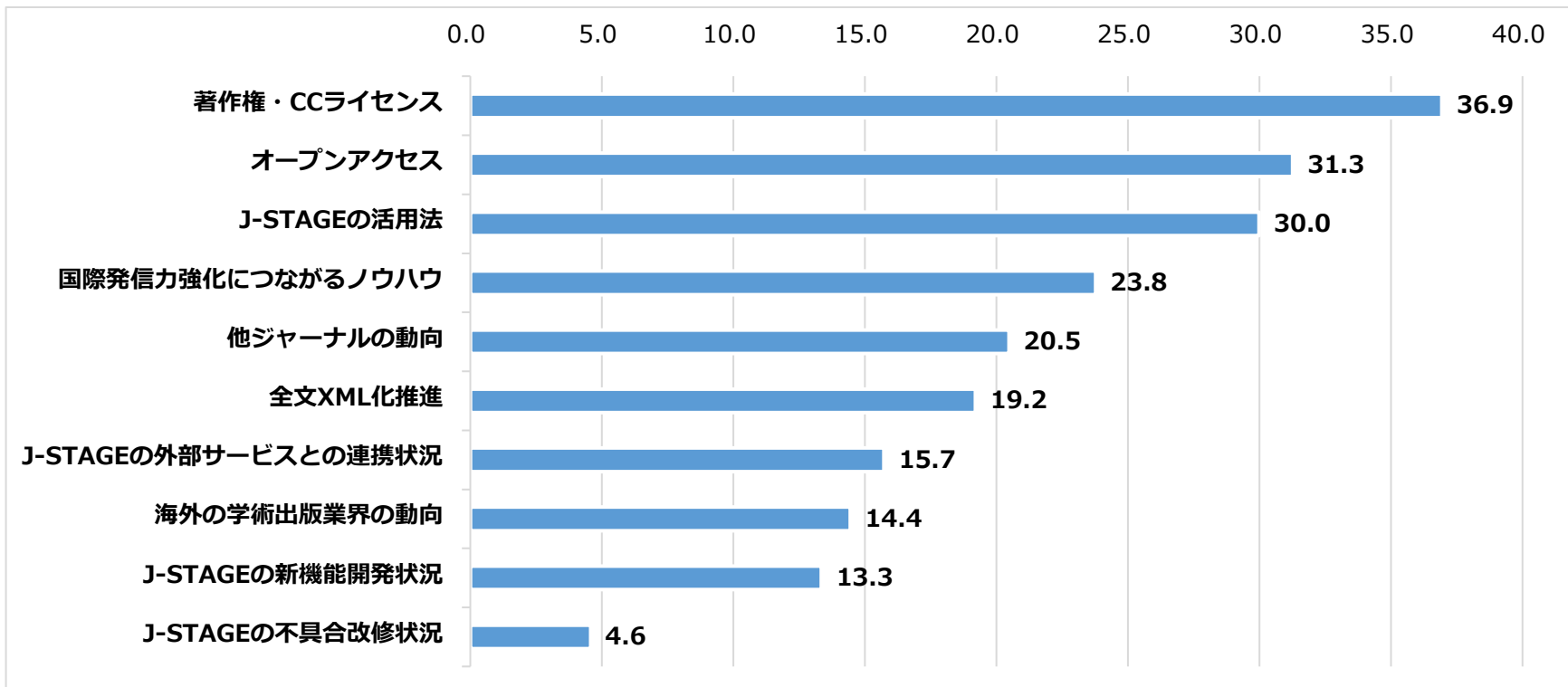
# ■ J-STAGEの運営する広報媒体・イベント等で取り上げてほしい内容

Q16 J-STAGEの運営する広報媒体・イベント等で取り上げてほしい内容を選んでください。【複数選択可】

● J-STAGEの運営する広報媒体・イベント等で取り上げてほしい内容は、「著作権・CCライセンス」が36.9%と最も高く、次いで「オープンアクセス」の31.3%、「J-STAGEの活用法」の30.0%の順に続いている。

N=547

単位：%



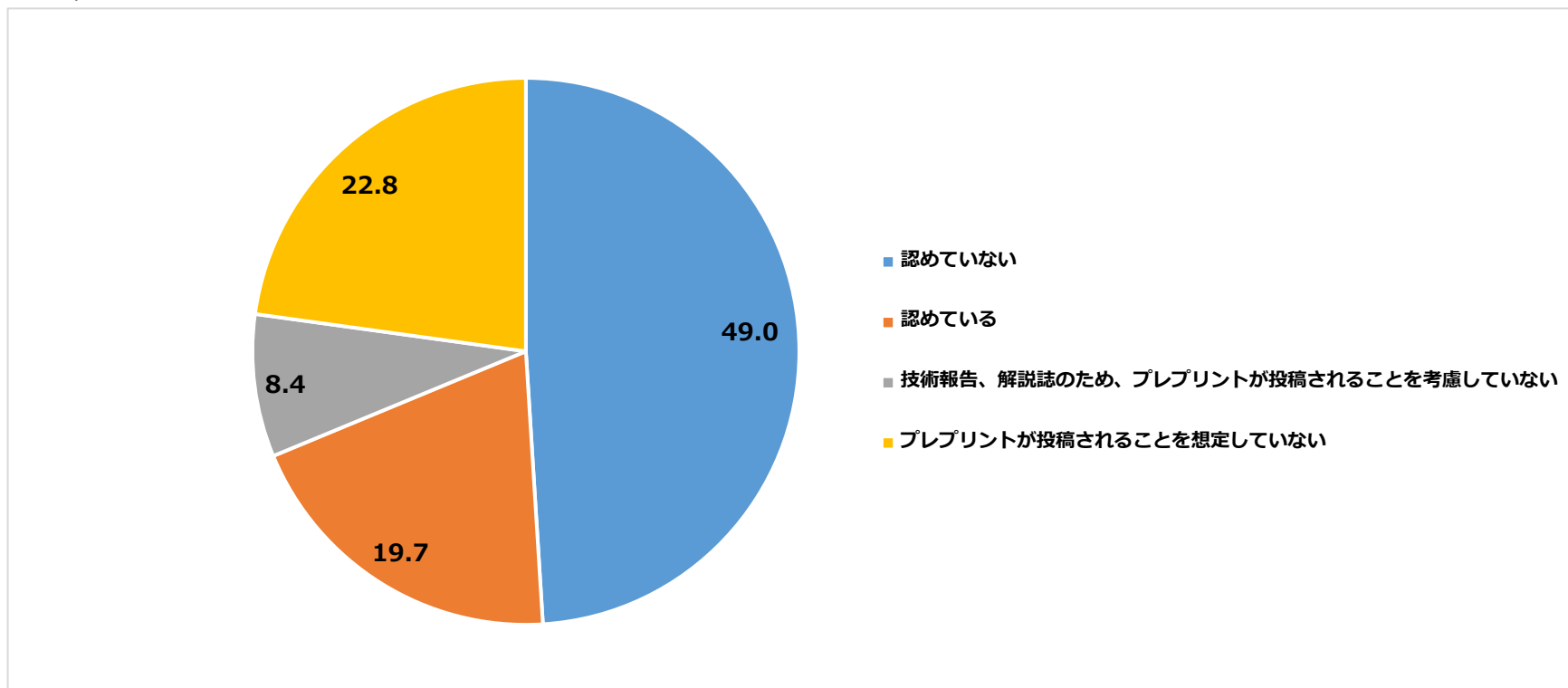
## ■プレプリントサーバで公開された原稿について、その投稿を認めているか

Q17 プレプリントサーバで公開された原稿について、その投稿を認めていますか。【1つ選択】

●プレプリントサーバで公開された原稿について、その投稿を認めているかは、「認めていない」が49.0%と最も高く、次いで「認めている」の19.7%、「技術報告、解説誌のため、プレプリントが投稿されることを考慮していない」の8.4%の順に続いている。

N=1,008

単位：%



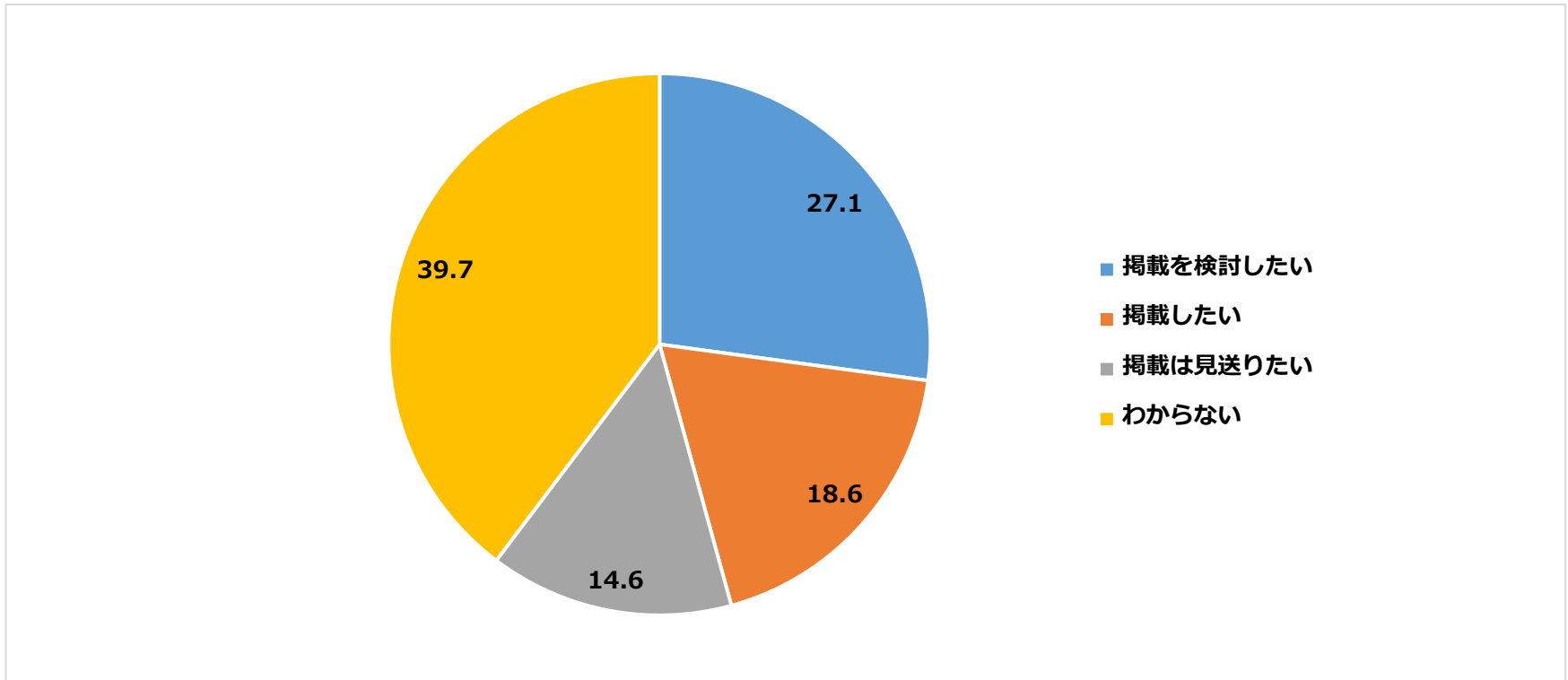
## ■ Jxivが整備しているプレプリント許容リストへの誌名記載の意向

Q17-1 Jxivが整備しているプレプリント許容リスト (<https://jxiv.jst.go.jp/index.php/jxiv/announcement/view/4>) へ貴誌の誌名を掲載することができます。掲載への貴誌の意向を教えてください。【1つ選択】

● Jxivが整備しているプレプリント許容リストへの誌名記載の意向は、「掲載を検討したい」が27.1%と最も高く、次いで「掲載したい」の18.6%、「掲載は見送りたい」の14.6%の順が続いている。「わからない」は39.7%であった。

N=199

単位：%



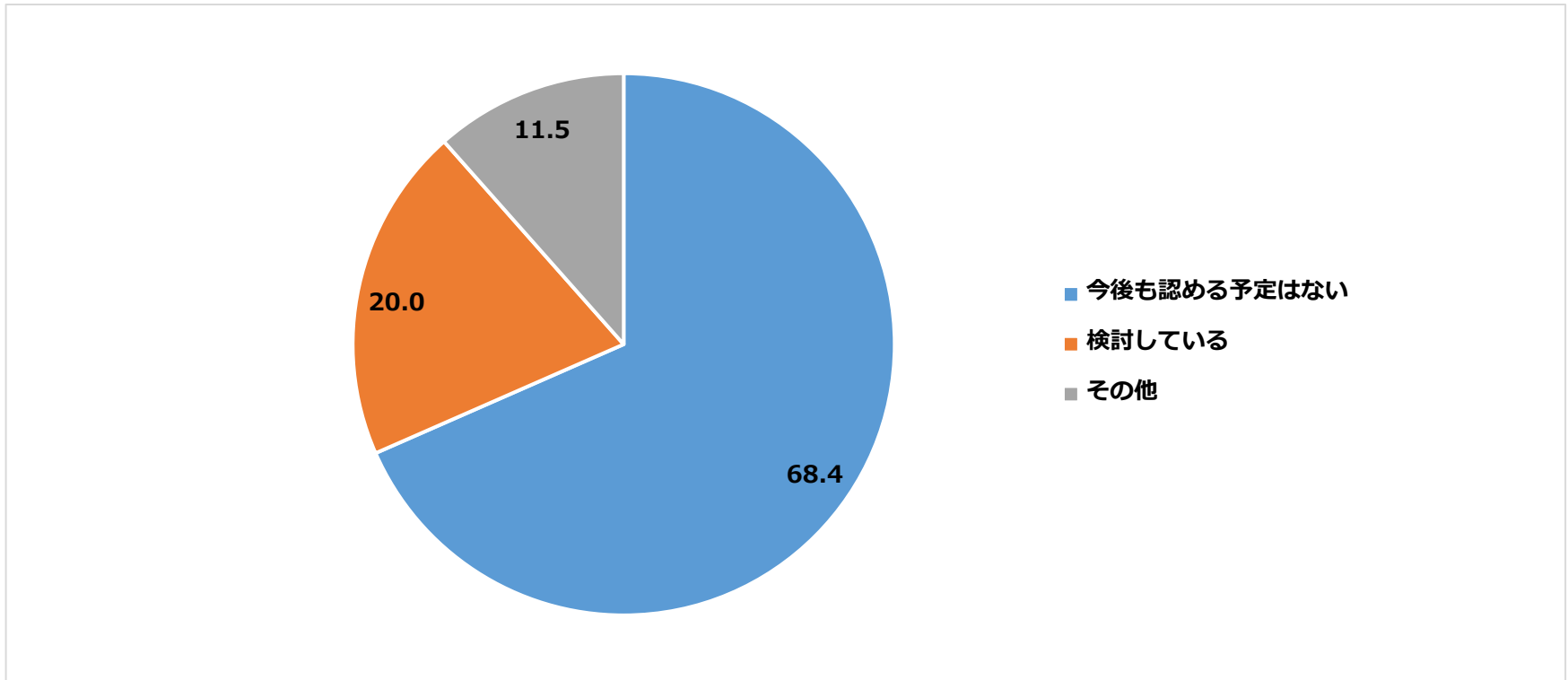
## ■プレプリントサーバで公開された原稿の投稿を認めていない現在の状況

Q17-2 プレプリントサーバで公開された原稿の投稿を認めていない現在の状況を選んでください。【1つ選択】

●プレプリントサーバで公開された原稿の投稿を認めていない現在の状況は、「今後も認める予定はない」が68.4%と最も高く、次いで「検討している」の20.0%、「その他」の11.5%の順に続いている。

N=494

単位：%



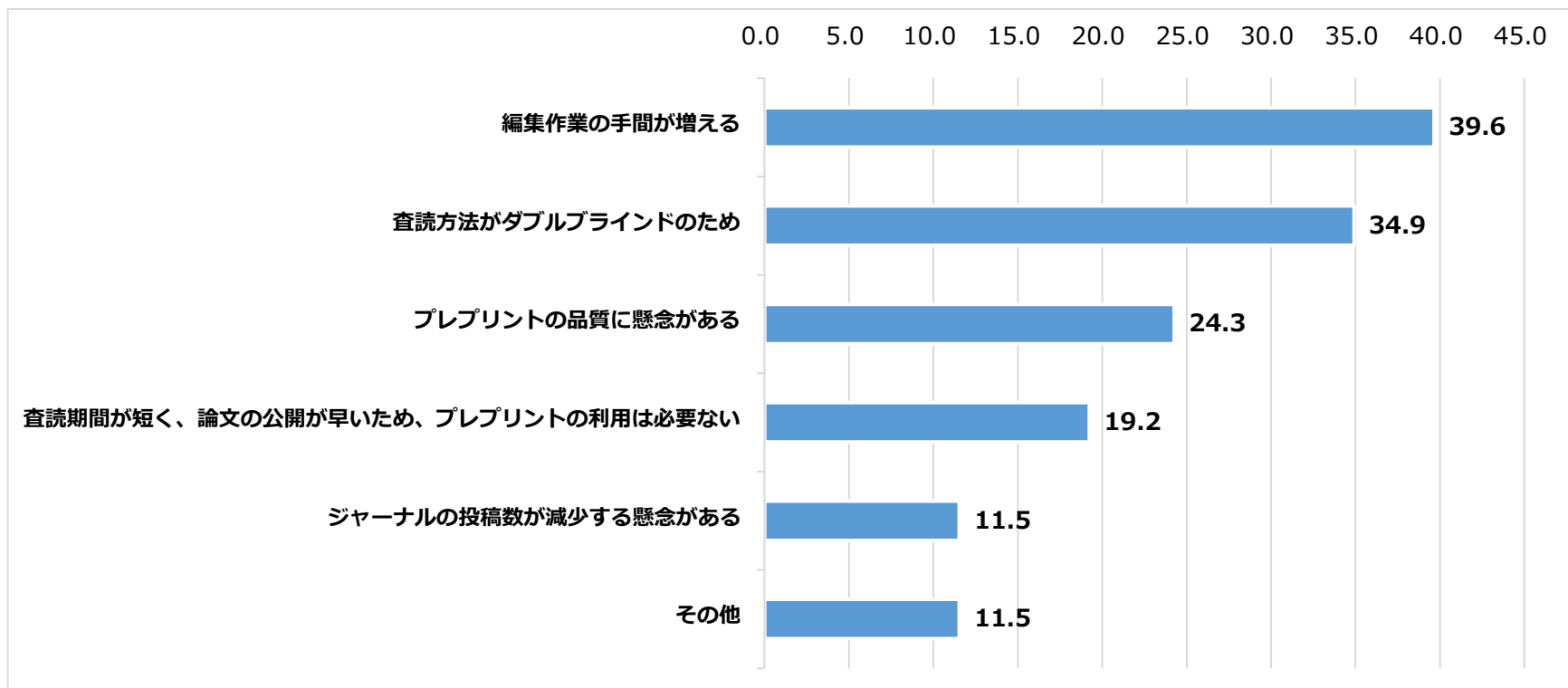
# ■プレプリントの投稿を認めていない理由

Q17-2-1 プレプリントの投稿を認めていない理由は何ですか。【複数選択可】

●プレプリントの投稿を認めていない理由は、「編集作業の手間が増える」が39.6%と最も高く、次いで「査読方法がダブルブラインドのため」の34.9%、「プレプリントの品質に懸念がある」の24.3%の順が続いている。

N=338

単位：%



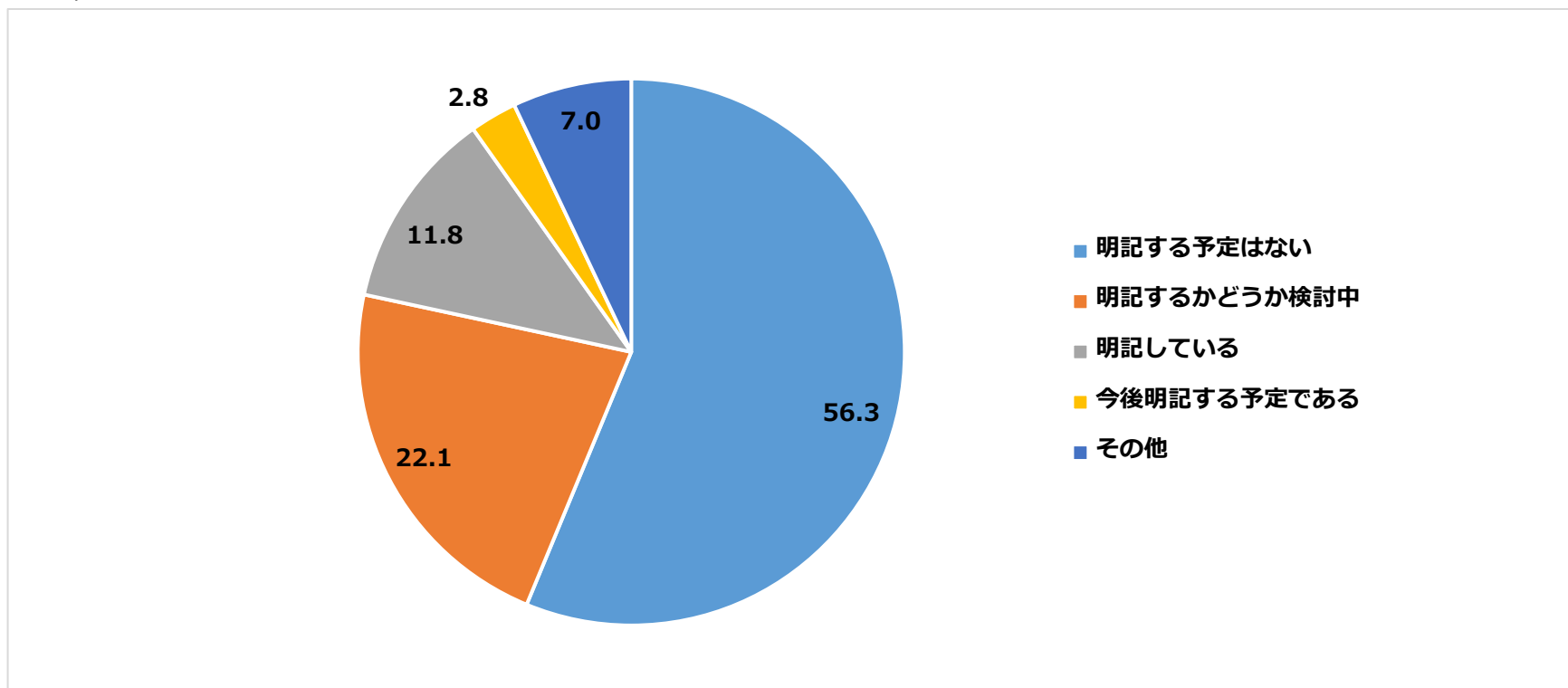
# ■プレプリントに関する方針の投稿規定への記載状況

Q18 プレプリントに関する方針（認める、認めないに関わらず）の投稿規定への記載状況を選んでください。【1つ選択】

●プレプリントに関する方針の投稿規定への記載状況は、「明記する予定はない」が56.3%と最も高く、次いで「明記するかどうか検討中」の22.1%、「明記している」の11.8%の順が続いている。

N=1,008

単位：%



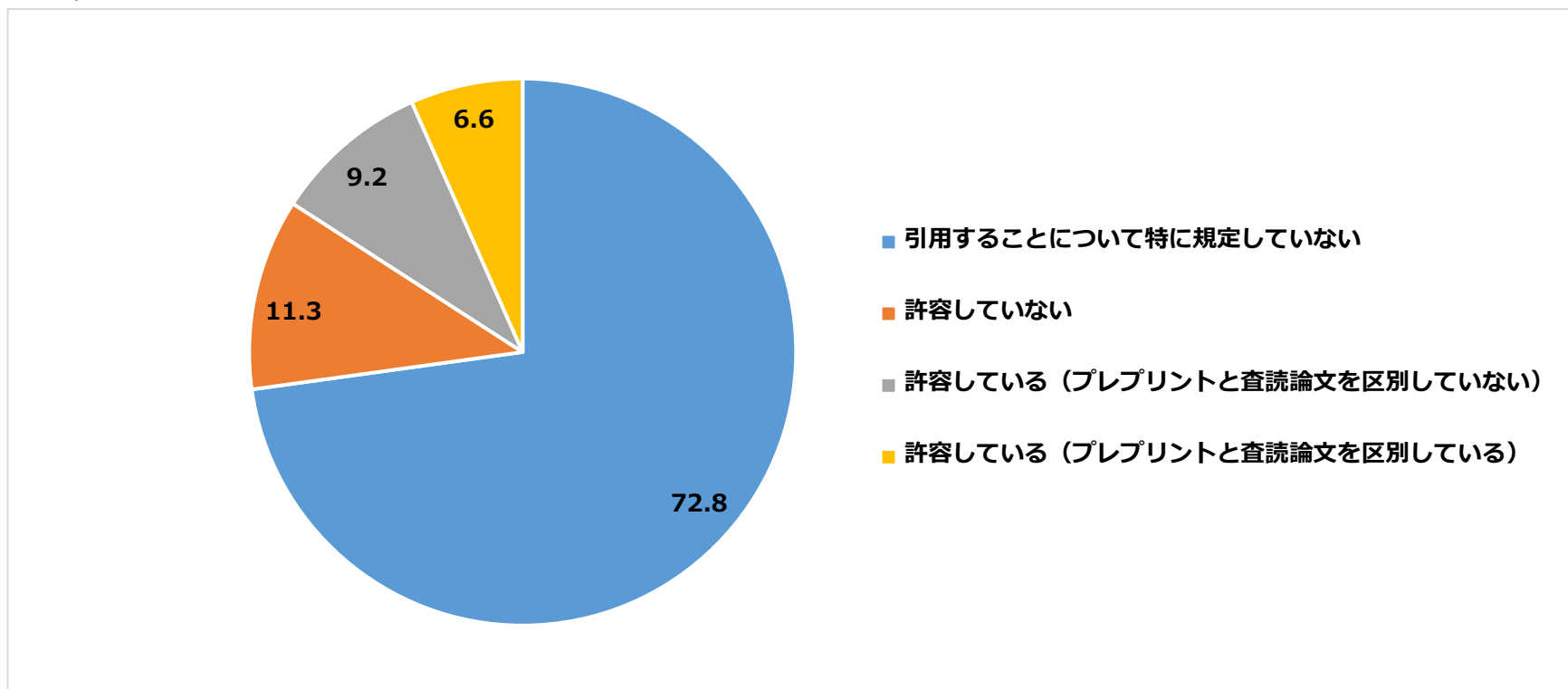
# ■ 掲載する論文における、プレプリントの引用

Q19 貴誌掲載の論文における、プレプリントの引用について選んでください。【1つ選択】

● 掲載する論文における、プレプリントの引用については、「引用することについて特に規定していない」が72.8%と最も高く、次いで「許容していない」の11.3%、「許容している（プレプリントと査読論文を区別していない）」の9.2%の順に続いている。

N=1,008

単位：%





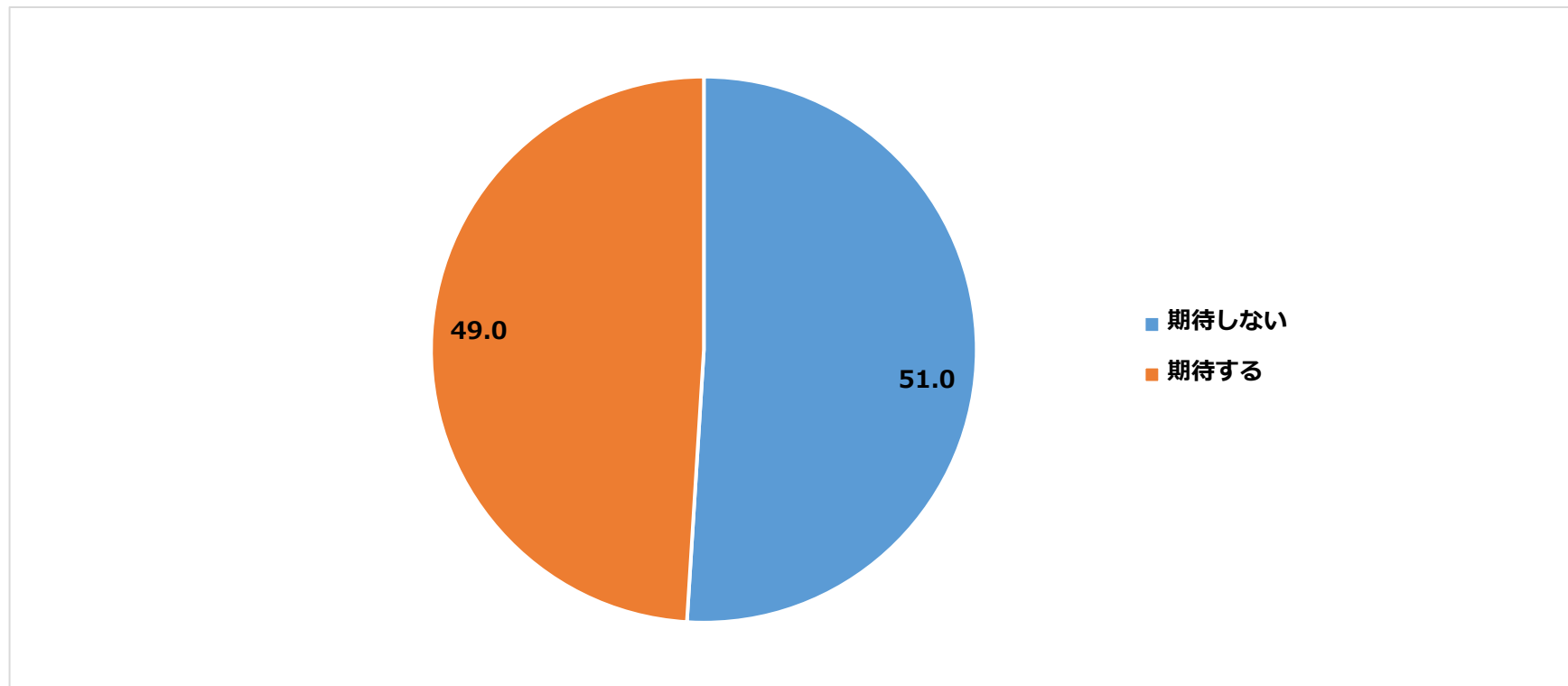
# ■ JxivとJ-STAGEとの連動サービスを期待するか

Q20 JSTは、2022年3月に日本発のプレプリントサーバ「[Jxiv \(ジェイカイク\)](#)」を運用を開始しました。JxivとJ-STAGEとの連動サービスを期待しますか。【1つ選択】

● JxivとJ-STAGEとの連動サービスを期待するかは、「期待しない」が51.0%と大半を占めた。「期待する」は49.0%であった。

N=1,008

単位：%



# ■ Jxivにコメント機能を搭載することについての考え

Q21 Jxivにコメント機能を搭載することについて、研究コミュニティを形成する学協会の立場からどう考えますか。【1つ選択】

● Jxivにコメント機能を搭載することについての考えは、「あまり使われたいのではないかと思う」が31.6%と最も高く、次いで「研究コミュニティ内での議論が活発になるのでよいと思う」の24.3%、「議論がエスカレートしてトラブルにつながるのを心配する」の12.2%の順に続いている。

N=1,008

単位：%

